

令和 7 年度 業務実績報告書

令和 8 年 6 月



地方独立行政法人
岐阜県立多治見病院

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日

- (4) 役員の状況 令和7年4月1日現在

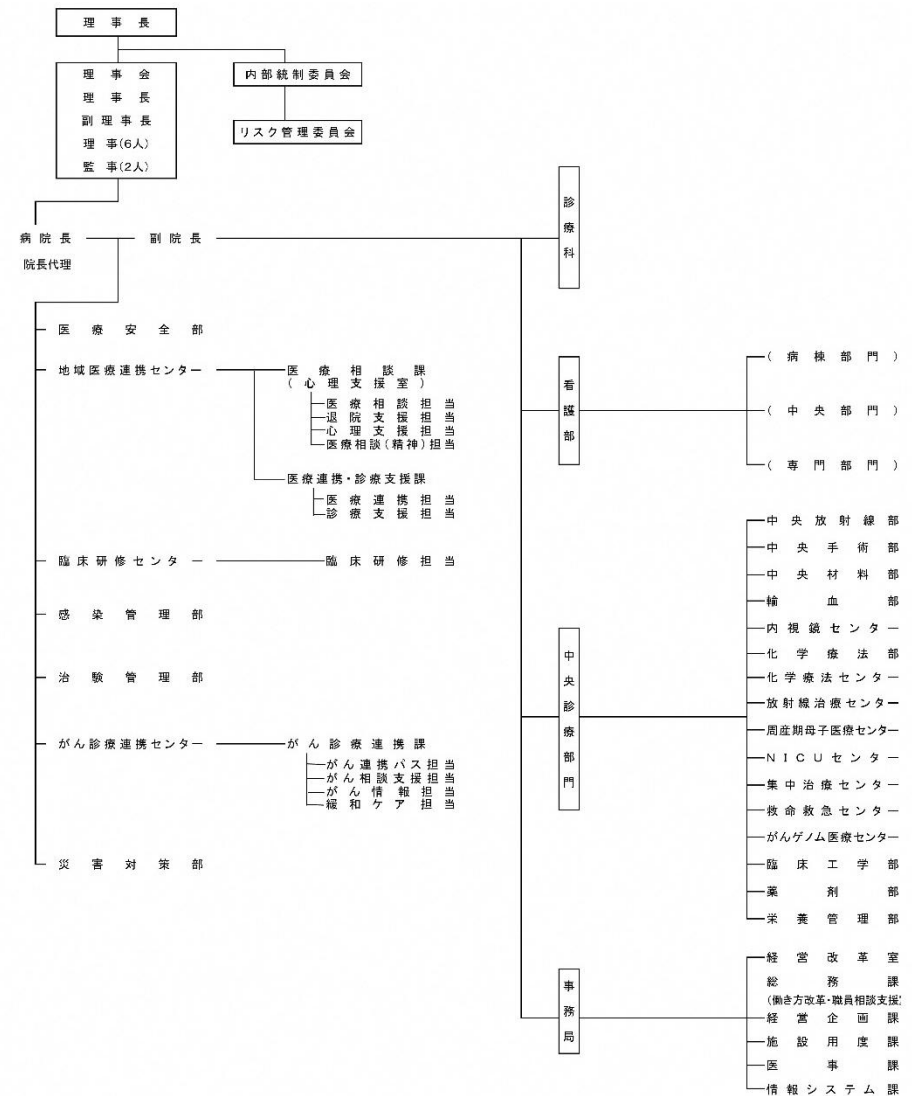
	氏 名	役 職
理事長	近藤 泰三	院 長
副理事長	西 哲也	副院長兼事務局長
理事	杉田 竜太郎	院長代理兼脳神経外科部長
理事	梶川 真樹	副院長兼外科統括部長
理事	日比野 剛	副院長兼内科統括部長
理事	若尾 真弓	副院長兼看護部長
理事	加藤 智子	ヤマカサ代表取締役
理事	村瀬 登志夫	元多治見市教育委員会教育長
監事	小島 浩一	弁護士
監事	木村 太哉	公認会計士

- (5) 職員数(令和7年4月1日現在) 単位:人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	177	3	180
看護師等	470	216	686
コメディカル	214	30	244
事務等	58	98	156
合計	919	347	1,266

(6) 組織図

令和7年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院（以下「法人」という。）は、平成22年度の設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、東濃圏域の基幹病院として医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

また、COVID-19への対応においては、多くの患者受入を行うなど、地域で中核的な役割を果たしてきた。

令和2年度から令和6年度までの第3期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営をしながらより質の高い医療サービスの提供に努め、新中央診療棟の整備、造血幹細胞移植施設としての稼働開始等を行ったものの、経営指標の目標達成は厳しい見通しとなった。

他方、医療を取り巻く環境は厳しさを増している。少子高齢化の進行により、高齢者人口は2040年頃にピークを迎え、その先は減少に転じると予測されている一方で、若年層は減少し続ける見込みであり、こうした大きな医療需要の変化にも対応できるよう医療提供体制の再構築が必要である。さらに、医療従事者の不足・偏在、働き方改革への対応、新興感染症の発生・まん延を見据えた体制の整備も必要である。

このため、第4期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応しつつ、第3期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の向上と持続可能な病院運営に努め、東濃圏域の基幹病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供、地域の医療機関への支援等により、地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

◆老朽化した診療棟の建替え推進

昭和56年及び59年に建てられた旧中央診療棟は築30年以上が経過し、外来患者の増加による外来部門の狭隘化や手術室・カテーテル治療室の不足、設備（上水道等）老朽化等が深刻となっており、また災害時の診療機能にも不安が大きいため、早急な対応が求められていた。

地域の基幹病院として県民・地域住民に引き続き適切な医療環境を提供するため、中央診療棟の再整備を図る必要があり、平成27年度に基本構想、平成28年度に基本計画、平成30年6月に基本設計、令和元年8月に実施設計を策定した。令和3年7月の入札を経て、令和3年9月に建設工事に着手し、令和6年1月に竣工。令和6年4月に開設した。

しかし、第二期工事既存棟の改修および旧中央診療棟の解体計画については、資金調達の目途がつかず着手できていない。

◆病床機能報告

県では、2次医療圏ごとの各医療機能の将来の必要量を含め、その地域にふさわしいバランスのとれた医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の分化と連携を適切に推進するための地域医療構想が策定された。

当院においても、当院の医療機能（高度急性期、急性期、慢性期）について病棟単位で現状と今後のあり方を検討し、東濃圏域における地域医療構想の具現化に参画する。

(3) 沿革

年	月	概要
昭和14年	5月	県立多治見病院開設→診療開始 昭和14年9月8日
昭和33年	10月	医療法による「総合病院」の指定
昭和43年	2月	岐阜県知事から「救急病院」の指定
昭和56年	11月	診療本館（現 中央診療棟）一期工事完成
昭和59年	2月	診療本館（現 中央診療棟）二期工事完成
昭和63年	12月	MRI棟完成
平成2年	10月	新東病棟（現 東病棟）完成
平成14年	3月	（財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5.0）の認定取得
平成18年	1月	電子カルテシステム導入
平成22年	3月	中・西病棟完成
〃	4月	地方独立行政法人に移行
〃	6月	緩和ケア病棟20床開設
平成24年	1月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver6.0）の認定取得
〃	5月	精神科病棟46床開設（再開）
平成25年	4月	高精度放射線治療センター稼働
平成28年	3月	卒後臨床研修評価機構の認定取得
〃	11月	病床数を575床へ変更（一般病床52床廃止）
平成29年	3月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:Ver1.1）の認定取得
〃	4月	血液浄化センター稼働
平成30年	6月	自治体立優良病院総務大臣表彰受賞
平成31年	3月	新保育施設開設
令和2年	4月	病床数を570床へ変更（一般病床1床・精神科病床4床廃止）
令和4年	3月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:Ver2.0）の認定取得
〃	10月	病床数を561床へ変更（精神科病床9床廃止）
令和5年	1月	病床数を553床へ変更（一般病床8床廃止）
令和6年	1月	新中央診療棟竣工
〃	4月	新中央診療棟開設
〃	〃	病床数を539床へ変更（一般病床14床廃止）
令和7年	8月	障害福祉サービス「短期入所（レスパイトケア）」開始

3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県立多治見病院
- (2) 所在地 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
- (4) その他

基本理念	安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます。
主な役割及び機能	東濃医療圏における基幹病院として、高度先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療の提供
重点医療	救急医療/周産期医療/がん医療/精神科医療・感染症医療/緩和ケア
診療科目	内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、新生児内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科
病床数	539床（一般487床：結核13床：精神33床：感染症6床）
年間延べ患者数 （令和7年度）	入院：136,750人 外来：269,090人

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

東濃圏域の基幹病院として、地域の医療機関等との役割分担・連携のもと、地域の限られた医療資源を有効活用し、良質かつ高度な医療を提供できるよう病床機能や規模、医療需要等の将来予測を踏まえながら診療事業を推進した。

より質の高い医療の提供のために、新中央診療棟の整備、高度医療機器の計画的な整備、必要な職員の確保、職員のスキルアップ支援、院内研修の実施、チーム医療の推進、ICT（情報通信技術）の活用、入退院支援の充実、医療安全対策や院内感染防止対策の充実を図った。

患者・住民サービスの向上について、施設改修や患者給食の向上による院内環境の整備、よろず相談、がん相談等の実施による相談体制の充実、患者の紹介、逆紹介の推進等を実施した。また、病院広報誌や地域情報誌、SNS 等において積極的な情報発信を展開したほか、患者や周辺住民からの病院運営に関する意見を反映する場として、地域住民等と病院とで構成する「岐阜県立多治見病院運営協議会」を開催し、協議会の委員らとの意見交換を行った。

診療体制の充実について、下り搬送の体制整備や、入院前又は入院初期に介入することで、転院や早期退院の問題となる事象を速やかに把握し、在院日数の短縮を図った。また、医療連携推進協議会等を開催し、地域医師会や地域の医療機関と情報交換を行い、患者動向や医療ニーズの把握に努めた。

地域医療支援病院として、訪問活動を通じて近隣医療機関との役割分担の明確化と連携強化を図っており、患者紹介率、逆紹介率ともに高い水準を維持した。（紹介率 74.4%、逆紹介率 99.9%）重点的に取り組む医療として、がん医療においては、引き続き高精度放射線治療装置の 2 台体制により、根治照射・予防照射・緩和照射等、正確で質の高い放射線治療を提供した。

新中央診療棟への移転と同時に導入した手術支援ロボット「ダヴィンチ」により、泌尿器科、外科、産婦人科の患者への手術時の負担軽減を可能としたが、肝臓やすい臓にかかる手術への拡充も進めている。

医療的ケアを必要とする子供を受け入れる「医療型短期入所」のサービスを令和 7 年 8 月から開始した。令和 7 年度は利用可否を判断するための入院に 2 人、本利用 1 人の利用者を受け入れている。

1-2 調査研究事業

臨床共同研究について、関連大学等からの依頼に積極的に取り組んだ。

診療に関する情報は分析・集計した上で一元的に管理し、各診療科医師や各部門からの要望に応じ、必要な医療情報を提供した。また、各種医療データを活用した集計データを管理会議や診療報酬委員会へ報告し、病院経営や研究支援に活用した。

「QI 事業」には引き続き参加し、データの提出後、フィードバックされたベンチマーク結果を医療の質向上委員会へ報告し、医療の質の向上を図った。

1-3 教育研修事業

内科領域、外科領域及び精神科領域において、専攻医の専門研修プログラムの基幹施設として専攻を募集し、内科領域で 5 名、外科領域で 1 名を採用した。

医学部生、看護学生等の実習を積極的に受け入れるなど、医療従事者の育成に努めた。また、救急救命士に対して、病院実習の実施のほか、救急入院後の事後検証会を定期的に開催するなど医療技術の向上を支援した。

県立多治見看護専門学校に対して、当院の医師・看護師等を専任教員又は非常勤講師として派遣し看護師養成を支援した。

1-4 地域支援事業

開業医への訪問活動を通じて、高度医療機器や開放型病床の共同利用の促進を図るとともに、国民健康保険上矢作病院、公立東濃中部医療センターへ医師を派遣するなど、医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を継続した。

岐阜県病院協会医学会において当院から 3 名が座長を務め 6 演題を発表した。また、東濃医学会学術集会では 5 演題を発表するなど地域医療水準の向上に寄与した。

大学、専門学校からの要請に応じ、講師の派遣や実習生の受入を行った。また、高校生を対象にした「ふれあい看護体験」や、多治見市内の中学生の職場体験に各部署で対応するなど、社会的な要請に対し積極的に協力した。

多治見市のバロー文化ホールを会場に名古屋大学から講師を招き「認知症の予防と治療」をテーマに市民公開講座を開催した。350 名が聴講し盛況裡に終了した。

1-5 災害等発生時における医療救護

BCP に基づいた災害実動訓練では、傷病者の受入訓練を行った。

病院被災時においても診療情報が消失しないよう、院内および遠隔地に保存するバックアップデータの作動確認を行った。

感染症指定医療機関として、地域の医療機関や保健所と連携し、感染症に係る情報共有や感染対策の支援ができる体制整備を行った。

DMAT は、国が主催する大規模地震時を想定した医療活動訓練に参加した。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

コンプライアンスの徹底について、新規採用職員へ服務と倫理研修を実施したほか、全職員に対しコンプライアンス研修として、個人情報保護とハラスメント防止に係る動画による研修を実施した。また、委託業者2社を選定し業務委託の質を評価した。委託業者による自己評価及び担当部署の評価を行う事で改善点を見出し、業務の質の向上へつなげた。

適切な情報管理については、病院の情報セキュリティポリシーを改定し職員へ周知したほか、サイバー攻撃対策訓練を岐阜県警察や多治見警察署の協力を得ながら実施した。

多様な契約手法の導入については、診療材料の価格交渉を共同購入組織と共同で行い、年間3,000万円以上の削減効果を得た。また、医療機器の調達に緊急性や費用対効果を考慮した上で、原則2種類以上の機器を比較検討し費用削減を図った。

収入の確保について、長期入院患者やDPC入院期間Ⅱの期間を越えた患者の状況を確認し、必要に応じて病棟をラウンドすることで原因を把握し対策した。

電子カルテが使用できるスマートフォン型端末を導入した。多職種間のチャットによるコミュニケーション機能のほか、音声入力などによる省力化を図った。また、医師が院外から電子カルテの閲覧できるようにした。生成AIの活用では退院サマリや看護サマリ等文書作成支援機能を導入した。

3 予算、収支計画及び資金計画

[収益] 入院診療単価、外来診療単価ともに昨年度と比べて増加したため、入院収益は昨年度比4.2%(5.2億円)の増加、外来収益は昨年度比9.9%(6.4億円)の増加となった。その他、運営費負担金収益は昨年度比8.8%(1.5億円)の減少となったが、補助金等収益が昨年度比318.8%(2.4億円)の増加、資産見返負債戻入が昨年度比3121.7%(1.9億円)の増加となり、収益全体では昨年度比6.9%(14.5億円)の増加となった。また、計画に比べ医業収益において2.0%(3.9億円)の増加、収益全体で2.8%(6.1億円)の増加となった。

[費用] 経費と減価償却費は減少したもののベースアップによる給与費の増加や高額医薬品の使用量増加による材料費の増加により、昨年度と比べ医業費用で3.2%(7.0億円)の増加、費用全体では昨年度比1.9%(4.6億円)の増加となった。また、計画に比べ医業費用において2.4%(5.3億円)の増加、費用全体では2.6%(6.3億円)の増加となった。

この結果、単年度収支は22億2千万円の赤字となり、経常収支比率も91.0%で、昨年度より向上したものの引き続き目標である100%以上を達成することができなかった。

職員給与費対医業収益比率は、目標50%以下に対して、51.7%となった。業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していくことが必要である。

経常収支比率 = (営業収益+営業外収益) ÷ (営業費用+営業外費用) ×100

営業収益 22,289,110 千円

営業外収益 120,374 千円

営業費用 23,387,422 千円

営業外費用 1,237,126 千円

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

法人が負担する債務の償還について、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目 番号	自己 評価	検証 結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	IV	
1-1-3 診療体制の充実	03	IV	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	IV	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	IV	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1-2-2 診療情報等の活用	07	III	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	III	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	III	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	IV	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	III	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	IV	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	III	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	III	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	15	III	
1-5-4 新興感染症発生時における役割の発揮	16	III	
1-6 医療的ケア児の短期入所施設の運営			
1-6-1 機能の充実	17	IV	

項目	項目 番号	自己 評価	検証 結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	18	IV	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	19	III	
2-1-3 人事評価制度の運用	20	III	
2-1-4 人材確保・育成方針	21	IV	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	22	III	
2-1-6 適切な情報管理	23	IV	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	24	IV	
2-2-2 収入の確保	25	III	
2-2-3 費用の削減	26	II	
3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画	27	II	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	28	IV	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	29	III	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	30	III	
8-4 内部統制の充実強化	31	III	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	32	III	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指 標	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
経常収益 (千円)	20,844,128	20,816,367	20,206,597	20,926,153	22,409,484
経常費用 (千円)	20,959,164	21,494,821	23,717,259	24,062,419	24,624,548
経常利益 (千円)	▲115,036	▲678,454	▲3,510,662	▲3,136,266	▲2,215,064
従事人員数 (人)	1,265	1,245	1,239	1,265	1,266

V 項目別の状況

主な指標 (3 予算 (人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画)								
	指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
	経常収支比率	100%を超過	87.0%	99.5%	96.8%	85.2%	87.0%	91.0%
	医業収支比率	100%を超過	94.0%	95.5%	91.8%	90.0%	94.0%	88.8%
	職員給与費対医業収支比率	50%未満	52.4%	53.0%	54.2%	53.5%	52.4%	51.7%

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	1-1 診療事業 東濃圏域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。 ※ より質の高い医療の提供 法人が有する人的・物的資源の有効活用と計画的な整備・更新を進め、高度で専門的かつ先進的な医療を、ニーズに応じて県民に広く提供することにより、県内医療水準の向上に努めること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入退院支援の充実などに努めること。 特に、マイナンバーカードの保険証利用による健診情報や投薬情報の共有、電子処方箋の利用拡大、AI (人工知能) の活用といった医療 DX を積極的に推進し、効率的かつ効果的な医療の提供による診療の質の向上や治療等の最適化に努めること。 さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。 ※ 患者・住民サービスの向上 快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度の実態調査の実施等により、待ち時間の短縮等患者満足度の向上を図ること。 また、病院運営について、ホームページなどを通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。 ※ 診療体制の充実
------	---

	医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など、持続可能な病院経営に配慮しつつ診療体制の整備・充実を図ること。 ※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。 地域の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携バスや ICT（情報通信技術）の活用などにより地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて東濃圏域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関として、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。 さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。 ※ 重点的に取り組む医療 高度急性期医療、急性期医療、先進医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救急医療」、「周産期医療」、「がん医療」などの高度で先進的な医療及び「精神科医療」、「感染症医療」などの政策医療を重点医療として位置付け、提供すること。 救急医療については、地域の医療機関等との連携の推進等により、東濃圏域の基幹病院として重症救急患者への対応を強化すること。 がん医療については、手術支援ロボット、骨髄移植や高精度放射線治療装置などによる高度医療の提供に加え、患者の就労も含めた相談支援の充実を図るなど、拠点病院としての機能を強化すること。 また、地域の医療機関等との連携の強化や、緩和ケアを提供できる人材の育成・確保等により、緩和ケア病棟と在宅での一貫した緩和ケアが受けられる体制の充実を図ること。
--	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																								
01	※ より質の高い医療の提供 1 高度医療機器の計画的な更新・整備 2 専門性を発揮したチーム医療の推進 3 医療DXの積極的な推進 4 入退院支援の充実 5 医療事故防止等医療安全対策の充実 6 院内感染防止対策の充実	2 専門性を発揮したチーム医療の推進 ・身体拘束最少化チームが中心となり、「身体拘束適正化のための指針」を作成した。身体拘束率（延人数割合）は12.3%（R6 年度：17.8%）となった。 ・診療科別クリニカルパスについては3 件の新規申請があり、クリニカルパス委員会を中心にロボット手術入院パスを作成中である。 【診療科別クリニカルパスの内訳】 単位：件 <table><tr><th>診療科名\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>産婦人科</td><td>19</td><td>16</td><td>21</td><td>23</td><td>12</td></tr><tr><td>整形外科</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td>呼吸器科</td><td>4</td><td>4</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td></tr><tr><td>外科・消化器外科</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>循環器科</td><td>23</td><td>20</td><td>22</td><td>28</td><td>29</td></tr><tr><td>その他</td><td>76</td><td>90</td><td>89</td><td>95</td><td>96</td></tr><tr><td>合 計</td><td>147</td><td>155</td><td>165</td><td>179</td><td>171</td></tr></table>	診療科名\年度	R3	R4	R5	R6	R7	産婦人科	19	16	21	23	12	整形外科	12	12	12	12	12	呼吸器科	4	4	8	8	8	外科・消化器外科	13	13	13	13	14	循環器科	23	20	22	28	29	その他	76	90	89	95	96	合 計	147	155	165	179	171	1 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・新棟稼働時の集中的な整備により医療機器の調達に一定の目途が立っていること、病院の経営状況が厳しい状況となっていることから、機器整備の対象を老朽化や故障により緊急的に整備が必要な機器及び高い収益性が見込める機器に限定した。 【更新・整備した主な機器】 <table><tr><th>機器名</th><th>整備目的・用途</th></tr><tr><td>注射薬自動払出システム</td><td>注射薬を効率的に払い出せるよう、老朽化した注射薬自動払出システムを更新した。（109,450 千円）</td></tr><tr><td>歯科用 X 線 CT 撮影装置</td><td>老朽化した CT 撮影装置を更新した。（15,400 千円）</td></tr><tr><td>超音波診断装置</td><td>産婦人科病棟の胎児観察用のエコーを更新した。（13,640 千円）</td></tr></table> 4 入退院支援の充実 ・年に4 回開催する東濃情報交換会に参加し、各病院や施設が抱える課題について共有を図った。 ・入院前支援では20 診療科を対象に多職種で協力し、昨年度より19 件の増の339 件対応した。加算総件数は1,306 件で昨年度より20 件増加した。	機器名	整備目的・用途	注射薬自動払出システム	注射薬を効率的に払い出せるよう、老朽化した注射薬自動払出システムを更新した。（109,450 千円）	歯科用 X 線 CT 撮影装置	老朽化した CT 撮影装置を更新した。（15,400 千円）	超音波診断装置	産婦人科病棟の胎児観察用のエコーを更新した。（13,640 千円）	IV	身体拘束率が縮小していること、医療DXを活用して省力化を図ったことを評価。
診療科名\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																								
産婦人科	19	16	21	23	12																																																								
整形外科	12	12	12	12	12																																																								
呼吸器科	4	4	8	8	8																																																								
外科・消化器外科	13	13	13	13	14																																																								
循環器科	23	20	22	28	29																																																								
その他	76	90	89	95	96																																																								
合 計	147	155	165	179	171																																																								
機器名	整備目的・用途																																																												
注射薬自動払出システム	注射薬を効率的に払い出せるよう、老朽化した注射薬自動払出システムを更新した。（109,450 千円）																																																												
歯科用 X 線 CT 撮影装置	老朽化した CT 撮影装置を更新した。（15,400 千円）																																																												
超音波診断装置	産婦人科病棟の胎児観察用のエコーを更新した。（13,640 千円）																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																											
		【クリニカルパス利用率】 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>45.0%</td><td>49.9%</td><td>50.3%</td><td>52.4%</td><td>53.2%</td></tr></table> 3 医療 DX の積極的な推進 ・地域医療連携ネットワークシステム（たじみのネット）の利用拡充に向け、近隣医療機関へのPR活動を実施した。 たじみのネット 登録医療機関：43 施設 登録医師：71 名 登録患者：692 名 ・電子カルテが使用できるスマートフォン型端末を導入した。多職種間のチャットによるコミュニケーション機能のほか、音声入力などによる省力化を図った。また、医師が院外から電子カルテを閲覧できるようにした。 ・退院サマリや看護サマリ等の文書作成を AI で支援する機能を電子カルテに導入した。	R3	R4	R5	R6	R7	45.0%	49.9%	50.3%	52.4%	53.2%	5 医療事故防止等医療安全対策の充実 ・医療安全講演会はe ラーニングを使って2回開催した。第1回は患者確認をテーマに、指差し呼称の重要性や患者確認を2つの識別子で確認し実践するべきであることなどについて学んだ。第2回は薬剤部の職員が「多職種で取り組むポリファーマシー対策」として講演した。 ・医療安全対策地域連携加算 1-2 カンファレンスを 12 月に実施し、今年度から新たに高井病院・上矢作病院が参加した。 ・各部門が自らのリスクを振り返り、改善策を継続的に検討することを習慣化するため、医療安全業務改善計画書の実施状況を医療安全部が確認し評価した。 【インシデント・アクシデント件数】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>インシデント</td><td>4,305</td><td>3,960</td><td>3,354</td><td>3,420</td><td>3,641</td></tr><tr><td>アクシデント</td><td>29</td><td>18</td><td>19</td><td>34</td><td>17</td></tr><tr><td>合計</td><td>4,334</td><td>3,978</td><td>3,373</td><td>3,454</td><td>3,658</td></tr></table> 【医療安全講演会開催実績】 単位：人 <table><tr><th>テーマ（開催日）</th><th>参加数</th><th>参加率（%）</th></tr><tr><td>安全を優先させる 患者確認と指差し呼称 外来での患者取り違いによる誤注射</td><td>1,195</td><td>96.8</td></tr><tr><td>多職種で取り組むポリファーマシー対策 薬剤部 副部長 長谷部 千夏</td><td>993</td><td>86.2</td></tr></table> 6 院内感染防止対策の充実 ・感染対策委員会を毎月開催し、感染症の発生状況やAST/ICT の活動報告等を行い注意喚起や感染対策の周知徹底を実施した。全職員に対し、電子カルテの掲示板や院内メールを活用し、情報提供や注意喚起を行った。 ・毎週、院内分離菌情報をもとにリスク評価を行い、ラウンドを実施し、必要に応じて、各部署の委員や所属長へ指導を行った。 ・AST/ICT 通信の発行、感染対策講演会、勉強会、掲示板を活用し情報発信、情報提供を行い感染に対する意識向上を図った。 ・e ラーニングを活用し、年2回感染対策講演会を開催した	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	インシデント	4,305	3,960	3,354	3,420	3,641	アクシデント	29	18	19	34	17	合計	4,334	3,978	3,373	3,454	3,658	テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）	安全を優先させる 患者確認と指差し呼称 外来での患者取り違いによる誤注射	1,195	96.8	多職種で取り組むポリファーマシー対策 薬剤部 副部長 長谷部 千夏	993	86.2		
R3	R4	R5	R6	R7																																												
45.0%	49.9%	50.3%	52.4%	53.2%																																												
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																											
インシデント	4,305	3,960	3,354	3,420	3,641																																											
アクシデント	29	18	19	34	17																																											
合計	4,334	3,978	3,373	3,454	3,658																																											
テーマ（開催日）	参加数	参加率（%）																																														
安全を優先させる 患者確認と指差し呼称 外来での患者取り違いによる誤注射	1,195	96.8																																														
多職種で取り組むポリファーマシー対策 薬剤部 副部長 長谷部 千夏	993	86.2																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																										
			【感染対策教育講演会開催実績】単位：人 <table><tr><th>テーマ</th><th>参加数</th><th>参加率 (%)</th></tr><tr><td>・病院で防ぐ感染拡大：アウトブレイクを防ごう（秋冬編）インフルエンザ</td><td>1, 112</td><td>91. 6</td></tr><tr><td>・岐阜感染症セミナー（GRIDS）インフルエンザの考え方</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）</td><td>1, 072</td><td>88. 4</td></tr></table>	テーマ	参加数	参加率 (%)	・病院で防ぐ感染拡大：アウトブレイクを防ごう（秋冬編）インフルエンザ	1, 112	91. 6	・岐阜感染症セミナー（GRIDS）インフルエンザの考え方			・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	1, 072	88. 4																																																																
テーマ	参加数	参加率 (%)																																																																													
・病院で防ぐ感染拡大：アウトブレイクを防ごう（秋冬編）インフルエンザ	1, 112	91. 6																																																																													
・岐阜感染症セミナー（GRIDS）インフルエンザの考え方																																																																															
・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	1, 072	88. 4																																																																													
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 院内環境の快適性の向上 2 医療に関する相談体制の充実 3 患者中心の医療の提供 4 待ち時間の短縮等による患者満足度の向上 5 インフォームド・コンセントの徹底及びセカンドオピニオンの推進 6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映	4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上 ・患者満足度調査を実施し、外来は2年連続満足度が高くなった。 【満足度調査の比較】 単位：％ <table><tr><th></th><th></th><th colspan="5">満足度</th></tr><tr><th></th><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td rowspan="2">入院</td><td>当院</td><td>95. 9</td><td>94. 6</td><td>95. 8</td><td>98. 7</td><td>96. 8</td></tr><tr><td>QI プロジェクト参加病院（平均値）</td><td>91. 3</td><td>88. 5</td><td>88. 0</td><td>89. 2</td><td>88. 9</td></tr><tr><td rowspan="2">外来</td><td>当院</td><td>85. 3</td><td>81. 6</td><td>81. 8</td><td>87. 1</td><td>91. 2</td></tr><tr><td>QI プロジェクト参加病院（平均値）</td><td>83. 7</td><td>81. 7</td><td>80. 3</td><td>79. 5</td><td>80. 2</td></tr></table>			満足度							R3	R4	R5	R6	R7	入院	当院	95. 9	94. 6	95. 8	98. 7	96. 8	QI プロジェクト参加病院（平均値）	91. 3	88. 5	88. 0	89. 2	88. 9	外来	当院	85. 3	81. 6	81. 8	87. 1	91. 2	QI プロジェクト参加病院（平均値）	83. 7	81. 7	80. 3	79. 5	80. 2	1 院内環境の快適性の向上 ・中央診療棟において、床に段差がある箇所をスロープに改修し、患者や職員の安全性と快適性を向上させた。 ・患者給食の質の向上を目指し、毎食の残菜調査、年6回嗜好調査で患者の満足度を調査した。医師・管理栄養士及び栄養管理委員会委員による検食結果と併せて給食委託会社と協議し、献立や食材、調理方法の見直しを実施した。 ・院内の全照明のLED化に向けて準備を進めた。 ・患者からの施設に係る意見・要望について適切な対応を行った。 【平均待ち時間】 単位：分 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>19. 8</td><td>23. 0</td><td>25. 3</td><td>22. 3</td><td>22. 7</td></tr></table> ※待ち時間は病院全体の時間 【喫食量の低下・低栄養患者への取組み】 単位：件 <table><tr><th>項目＼年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>栄養指導</td><td>5, 262</td><td>5, 042</td><td>4, 917</td><td>5, 972</td><td>6, 546</td></tr><tr><td>栄養管理</td><td>8, 691</td><td>8, 720</td><td>8, 907</td><td>9, 309</td><td>9, 388</td></tr><tr><td>NST 介入</td><td>1, 240</td><td>1, 139</td><td>1, 046</td><td>1, 413</td><td>1, 537</td></tr></table> 2 医療に関する相談体制の充実 ・相談対応時等に使用する個室を1室増やし、個人情報を持しながら相談しやすい環境作りに務めた。 ・患者サポートカンファレンスを必要に応じて、診療科部長や病棟師長、担当者及び当事者を交えて検討した。	R3	R4	R5	R6	R7	19. 8	23. 0	25. 3	22. 3	22. 7	項目＼年度	R3	R4	R5	R6	R7	栄養指導	5, 262	5, 042	4, 917	5, 972	6, 546	栄養管理	8, 691	8, 720	8, 907	9, 309	9, 388	NST 介入	1, 240	1, 139	1, 046	1, 413	1, 537	IV	外来における患者満足度の向上を評価。
		満足度																																																																													
		R3	R4	R5	R6	R7																																																																									
入院	当院	95. 9	94. 6	95. 8	98. 7	96. 8																																																																									
	QI プロジェクト参加病院（平均値）	91. 3	88. 5	88. 0	89. 2	88. 9																																																																									
外来	当院	85. 3	81. 6	81. 8	87. 1	91. 2																																																																									
	QI プロジェクト参加病院（平均値）	83. 7	81. 7	80. 3	79. 5	80. 2																																																																									
R3	R4	R5	R6	R7																																																																											
19. 8	23. 0	25. 3	22. 3	22. 7																																																																											
項目＼年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																										
栄養指導	5, 262	5, 042	4, 917	5, 972	6, 546																																																																										
栄養管理	8, 691	8, 720	8, 907	9, 309	9, 388																																																																										
NST 介入	1, 240	1, 139	1, 046	1, 413	1, 537																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																								
			【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td><td>445</td><td>244</td><td>146</td><td>241</td><td>188</td></tr> <tr> <td>よろず相談</td><td>2, 256</td><td>620</td><td>650</td><td>521</td><td>487</td></tr> </tbody> </table> ※よろず相談の業務内容を明確化したことに伴い R4 から件数減となった。 【医療相談件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td><td>26, 203</td><td>27, 571</td><td>29, 732</td><td>28, 874</td><td>28, 200</td></tr> <tr> <td>がん患者サロン (ほつとサロン) 相談件数</td><td>39</td><td>79</td><td>89</td><td>171</td><td>161</td></tr> </tbody> </table> 3 患者中心の医療の提供 ・患者の権利と責務について、機能評価受審に向けて見直しを行った。 ・患者からのカルテ開示請求に対応した。 【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td><td>32</td><td>29</td><td>29</td><td>28</td><td>29</td></tr> <tr> <td>開示件数</td><td>32</td><td>29</td><td>29</td><td>28</td><td>29</td></tr> </tbody> </table> 5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 ・治療に関する情報やリスク等について、患者が理解し治療方針等を選択できるように説明書や同意書の整備を行った。 ・がん相談支援センターが IC に同席する際は、患者や家族の意向を聞きながら自己決定できるよう支援した。 ・気軽にがん相談ができるよう、相談場所を外来通路へ移転した。 【セカンドオピニオン実施件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td><td>4</td><td>3</td><td>5</td><td>11</td><td>10</td></tr> <tr> <td>他院紹介</td><td>52</td><td>95</td><td>70</td><td>65</td><td>59</td></tr> </tbody> </table>	項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7	かかりつけ医への紹介	445	244	146	241	188	よろず相談	2, 256	620	650	521	487	項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7	医療相談件数	26, 203	27, 571	29, 732	28, 874	28, 200	がん患者サロン (ほつとサロン) 相談件数	39	79	89	171	161	項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7	請求件数	32	29	29	28	29	開示件数	32	29	29	28	29	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	外来受入	4	3	5	11	10	他院紹介	52	95	70	65	59		
項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																								
かかりつけ医への紹介	445	244	146	241	188																																																																								
よろず相談	2, 256	620	650	521	487																																																																								
項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																								
医療相談件数	26, 203	27, 571	29, 732	28, 874	28, 200																																																																								
がん患者サロン (ほつとサロン) 相談件数	39	79	89	171	161																																																																								
項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																								
請求件数	32	29	29	28	29																																																																								
開示件数	32	29	29	28	29																																																																								
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																								
外来受入	4	3	5	11	10																																																																								
他院紹介	52	95	70	65	59																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																														
			6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映 ・「おりべくらぶ」や「Kanisancub(可児版)」などの地域情報誌へ隔月で疾患に関する記事を掲載した。 ・広報誌「けんびょういん」を冊子にして配布するだけでなく、ホームページに掲載したり病院公式LINEで配信した。 ・病院主催のクリスマスコンサートや災害実動訓練の様子を新聞各社や地元ケーブルテレビ局に取材してもらい、病院の取組を積極的に発信した。 ・当院と地域住民の代表等で構成する岐阜県立多治見病院運営協議会を3月に開催し、看護師確保対策や医療DXの取組状況について意見交換を行った。																																																																																
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 2 多様な専門職の積極的な活用	1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・医療連携推進協議会を年4回、地域連携パス合同会議を年3回、東濃・可児地域病連携推進会議を年2回それぞれ開催し、地域医師会や地域の医療機関との情報交換を行い、患者動向や医療ニーズの把握に努めた。 【連携予約状況】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td><td>1,399</td><td>1,539</td><td>1,561</td><td>1,587</td><td>1,541</td></tr> <tr> <td>神経内科</td><td>785</td><td>818</td><td>850</td><td>939</td><td>1,026</td></tr> <tr> <td>消化器内科</td><td>1,963</td><td>2,065</td><td>2,110</td><td>2,102</td><td>2,242</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>10,653</td><td>10,793</td><td>11,267</td><td>11,965</td><td>11,985</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>14,800</td><td>15,215</td><td>15,788</td><td>16,593</td><td>16,794</td></tr> </tbody> </table> 【訪問活動・健康づくり講座】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問活動 (件)</td><td>15</td><td>10</td><td>18</td><td>12</td><td>14</td></tr> <tr> <td>健康づくり講座 (回)</td><td>0</td><td>10</td><td>16</td><td>20</td><td>22</td></tr> </tbody> </table> 【医療連携交流会】 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院外参加者数</td><td>開催自粛</td><td>開催自粛</td><td>開催自粛</td><td>49</td><td>58</td></tr> <tr> <td>院内参加者数</td><td></td><td></td><td></td><td>30</td><td>35</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td></td><td></td><td></td><td>79</td><td>93</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	整形外科	1,399	1,539	1,561	1,587	1,541	神経内科	785	818	850	939	1,026	消化器内科	1,963	2,065	2,110	2,102	2,242	その他	10,653	10,793	11,267	11,965	11,985	合 計	14,800	15,215	15,788	16,593	16,794	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	訪問活動 (件)	15	10	18	12	14	健康づくり講座 (回)	0	10	16	20	22	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	院外参加者数	開催自粛	開催自粛	開催自粛	49	58	院内参加者数				30	35	合 計				79	93	2 多様な専門職の積極的な活用 ・看護師や臨床検査技師、医師事務作業補助者等、多職種の非常勤職員（派遣職員9名を含む）を47名採用した。 ・定年再雇用者を32名雇用している。	IV	連携予約の件数や手術件数の増加を評価。
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																														
整形外科	1,399	1,539	1,561	1,587	1,541																																																																														
神経内科	785	818	850	939	1,026																																																																														
消化器内科	1,963	2,065	2,110	2,102	2,242																																																																														
その他	10,653	10,793	11,267	11,965	11,985																																																																														
合 計	14,800	15,215	15,788	16,593	16,794																																																																														
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																														
訪問活動 (件)	15	10	18	12	14																																																																														
健康づくり講座 (回)	0	10	16	20	22																																																																														
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																														
院外参加者数	開催自粛	開催自粛	開催自粛	49	58																																																																														
院内参加者数				30	35																																																																														
合 計				79	93																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																						
		【CT、MRI 検査件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT 件数</td><td>32,682</td><td>30,348</td><td>31,238</td><td>32,377</td><td>33,471</td></tr> <tr> <td>MRI 件数</td><td>10,366</td><td>10,167</td><td>10,175</td><td>10,554</td><td>11,129</td></tr> </tbody> </table> 【手術件数】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術室</td><td>4,509</td><td>4,612</td><td>4,816</td><td>5,114</td><td>5,254</td></tr> <tr> <td>中放内視鏡</td><td>3,207</td><td>3,228</td><td>3,431</td><td>3,228</td><td>3,563</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>7,716</td><td>7,840</td><td>8,247</td><td>8,342</td><td>8,817</td></tr> </tbody> </table> 【高度医療機器利用状況】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td><td>907</td><td>867</td><td>1,028</td><td>1,010</td><td>1,048</td></tr> <tr> <td>MRI</td><td>608</td><td>620</td><td>588</td><td>705</td><td>723</td></tr> <tr> <td>RI</td><td>197</td><td>197</td><td>214</td><td>233</td><td>221</td></tr> <tr> <td>PET</td><td>47</td><td>74</td><td>37</td><td>50</td><td>43</td></tr> <tr> <td>骨密度</td><td>99</td><td>99</td><td>97</td><td>103</td><td>101</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>1,858</td><td>1,857</td><td>1,964</td><td>2,101</td><td>2,136</td></tr> </tbody> </table> 【開放型病床利用】 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td><td>11</td><td>9</td><td>21</td><td>18</td><td>21</td></tr> <tr> <td>歯科</td><td>35</td><td>44</td><td>36</td><td>39</td><td>34</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	CT 件数	32,682	30,348	31,238	32,377	33,471	MRI 件数	10,366	10,167	10,175	10,554	11,129	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	手術室	4,509	4,612	4,816	5,114	5,254	中放内視鏡	3,207	3,228	3,431	3,228	3,563	合 計	7,716	7,840	8,247	8,342	8,817	機器名\年度	R3	R4	R5	R6	R7	CT	907	867	1,028	1,010	1,048	MRI	608	620	588	705	723	RI	197	197	214	233	221	PET	47	74	37	50	43	骨密度	99	99	97	103	101	合 計	1,858	1,857	1,964	2,101	2,136	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	医科	11	9	21	18	21	歯科	35	44	36	39	34			
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																						
CT 件数	32,682	30,348	31,238	32,377	33,471																																																																																																						
MRI 件数	10,366	10,167	10,175	10,554	11,129																																																																																																						
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																						
手術室	4,509	4,612	4,816	5,114	5,254																																																																																																						
中放内視鏡	3,207	3,228	3,431	3,228	3,563																																																																																																						
合 計	7,716	7,840	8,247	8,342	8,817																																																																																																						
機器名\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																						
CT	907	867	1,028	1,010	1,048																																																																																																						
MRI	608	620	588	705	723																																																																																																						
RI	197	197	214	233	221																																																																																																						
PET	47	74	37	50	43																																																																																																						
骨密度	99	99	97	103	101																																																																																																						
合 計	1,858	1,857	1,964	2,101	2,136																																																																																																						
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																						
医科	11	9	21	18	21																																																																																																						
歯科	35	44	36	39	34																																																																																																						
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 1 地域の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 ・東濃・可児地域病連携推進会議を年2回開催し、地域の医療機関と急性期医療、回復期医療の提供体制について、意見交換を行った。 ・多治見シャトル（病診連携システム）やたじみのネット（地域医療連携ネットワークシステム）の効果的な活用等により、紹介率、逆紹介率とも高い水準を維持できた。	2 地域連携クリニカルパスの整備普及 ・地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、医療連携推進協議会を年4回開催し、医師会、行政機関等との連携を強化した。	IV	地域の医療機関との連携強化による紹介率・逆紹介率の向上を評価。																																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																							
	2 地域連携バスの整備 普及 3 疾病予防の推進 4 地域の介護・福祉機関 との連携強化による地 域包括ケアシステムへ の貢献	【多治見シャトル利用】 単位：件 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>3, 273</td><td>3, 321</td><td>3, 202</td><td>3, 368</td><td>3, 552</td></tr></table> 【紹介患者のうち医療連携予約の割合】 単位：％ <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>80. 7</td><td>79. 0</td><td>79. 8</td><td>84. 5</td><td>78. 3</td></tr></table> 【紹介率・逆紹介率】 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>紹介率 (単位：％)</td><td>72. 8</td><td>73. 3</td><td>74. 8</td><td>73. 3</td><td>74. 4</td></tr><tr><td>紹介実件数 (単位：件)</td><td>18, 345</td><td>19, 250</td><td>19, 776</td><td>19, 637</td><td>21, 456</td></tr><tr><td>逆紹介率 (単位：％)</td><td>97. 4</td><td>100. 5</td><td>98. 2</td><td>95. 3</td><td>99. 9</td></tr><tr><td>逆紹介実件数 (単位：件)</td><td>17, 638</td><td>18, 149</td><td>17, 967</td><td>18, 127</td><td>18, 438</td></tr></table> 3 疾病予防の推進 ・令和7年8月に「脳にいいこと、始めませんか？～認知症の予防と治療～」と題して、名古屋大学 脳とこころの研究センターの小倉礼先生の公開講座を開催した。地域住民の方への健康増進のための講座や、病院での取組について情報発信を行った。 ・各地区の公民館等に出張し、医師や看護師、コメディカルの職員が講師となって健康づくり講座を 22 回開催した。	R3	R4	R5	R6	R7	3, 273	3, 321	3, 202	3, 368	3, 552	R3	R4	R5	R6	R7	80. 7	79. 0	79. 8	84. 5	78. 3	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	紹介率 (単位：％)	72. 8	73. 3	74. 8	73. 3	74. 4	紹介実件数 (単位：件)	18, 345	19, 250	19, 776	19, 637	21, 456	逆紹介率 (単位：％)	97. 4	100. 5	98. 2	95. 3	99. 9	逆紹介実件数 (単位：件)	17, 638	18, 149	17, 967	18, 127	18, 438	【地域連携バス運用実績】 単位：件 <table><tr><th>バス名\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>87</td><td>115</td><td>109</td><td>79</td><td>77</td></tr><tr><td>脳卒中</td><td>220</td><td>206</td><td>188</td><td>118</td><td>114</td></tr><tr><td>5大がん</td><td>13</td><td>15</td><td>25</td><td>30</td><td>16</td></tr><tr><td>狭心症・心筋梗塞</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>糖尿病</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合 計</td><td>322</td><td>337</td><td>322</td><td>227</td><td>207</td></tr></table> 【共同指導・連携指導の実績】 単位：件 <table><tr><th>項目\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>退院時共同指導実績</td><td>202</td><td>194</td><td>194</td><td>237</td><td>265</td></tr><tr><td>介護支援連携指導</td><td>174</td><td>171</td><td>180</td><td>205</td><td>199</td></tr></table> 4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献 ・DPC 入院期間Ⅱ超え患者について、毎週木曜日に担当者から治療や今後の方針等を確認し、困難事例を検討するなど退院支援を継続して行った。 ・年4回開催の東濃情報交換会に参加し、他病院や施設の職員との情報交換と共有を図った。 ・入院前支援を昨年度より 19 件の増の 1. 339 件対応した。 【在宅復帰率】 単位：％ <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>92. 2</td><td>90. 7</td><td>91. 2</td><td>91. 5</td><td>93. 5</td></tr></table> 【相談対応件数】 単位：件 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>26, 454</td><td>27, 571</td><td>29, 732</td><td>28, 874</td><td>28, 200</td></tr></table> 【合同カンファレンスの実績】 単位：件 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr></table>	バス名\年度	R3	R4	R5	R6	R7	大腿骨頸部骨折	87	115	109	79	77	脳卒中	220	206	188	118	114	5大がん	13	15	25	30	16	狭心症・心筋梗塞	2	1	0	0	0	糖尿病	0	0	0	0	0	合 計	322	337	322	227	207	項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7	退院時共同指導実績	202	194	194	237	265	介護支援連携指導	174	171	180	205	199	R3	R4	R5	R6	R7	92. 2	90. 7	91. 2	91. 5	93. 5	R3	R4	R5	R6	R7	26, 454	27, 571	29, 732	28, 874	28, 200	R3	R4	R5	R6	R7		
R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																								
3, 273	3, 321	3, 202	3, 368	3, 552																																																																																																																																								
R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																								
80. 7	79. 0	79. 8	84. 5	78. 3																																																																																																																																								
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																							
紹介率 (単位：％)	72. 8	73. 3	74. 8	73. 3	74. 4																																																																																																																																							
紹介実件数 (単位：件)	18, 345	19, 250	19, 776	19, 637	21, 456																																																																																																																																							
逆紹介率 (単位：％)	97. 4	100. 5	98. 2	95. 3	99. 9																																																																																																																																							
逆紹介実件数 (単位：件)	17, 638	18, 149	17, 967	18, 127	18, 438																																																																																																																																							
バス名\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																							
大腿骨頸部骨折	87	115	109	79	77																																																																																																																																							
脳卒中	220	206	188	118	114																																																																																																																																							
5大がん	13	15	25	30	16																																																																																																																																							
狭心症・心筋梗塞	2	1	0	0	0																																																																																																																																							
糖尿病	0	0	0	0	0																																																																																																																																							
合 計	322	337	322	227	207																																																																																																																																							
項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																							
退院時共同指導実績	202	194	194	237	265																																																																																																																																							
介護支援連携指導	174	171	180	205	199																																																																																																																																							
R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																								
92. 2	90. 7	91. 2	91. 5	93. 5																																																																																																																																								
R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																								
26, 454	27, 571	29, 732	28, 874	28, 200																																																																																																																																								
R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)					自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																																											
			377	371	405	444	464																																																																																																																																																																																																													
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救急医療 2 周産期医療 3 がん医療 4 精神科医療・感染症医療 5 緩和ケア 6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実	1 救急医療 ・下り搬送件数(救急患者連携搬送料を算定した患者)が令和6年度は5.5件/月だったのに対し令和7年度は10.0件/月に増加した。 ・救急搬送応需率が令和6年度は81.0%だったのが、令和7年度は87.0%に上昇した。 【救命救急センター受入実績(延患者数及び病床利用率)】 <table><tr><th>年度</th><th colspan="2">R3</th><th colspan="2">R4</th><th colspan="2">R5</th></tr><tr><th>項目</th><th>延べ患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th><th>延べ患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th><th>延べ患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th></tr><tr><td>ICU</td><td>1,531</td><td>53.9</td><td>1,722</td><td>59.0</td><td>1,778</td><td>60.9</td></tr><tr><td>CCU</td><td>745</td><td>68.8</td><td>747</td><td>68.2</td><td>731</td><td>66.8</td></tr><tr><td>HCU</td><td>957</td><td>29.4</td><td>1,000</td><td>30.4</td><td>1,088</td><td>33.1</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,233</td><td>45.1</td><td>3,469</td><td>47.5</td><td>3,597</td><td>49.3</td></tr></table> <table><tr><th>年度</th><th colspan="2">R6</th><th colspan="2">R7</th></tr><tr><th>項目</th><th>延べ患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th><th>延べ患者数 (人)</th><th>病床利用率 (%)</th></tr><tr><td>ICU</td><td>1,836</td><td>62.9</td><td>2,104</td><td>72.1</td></tr><tr><td>CCU</td><td>730</td><td>66.7</td><td>716</td><td>65.4</td></tr><tr><td>HCU</td><td>1,352</td><td>41.2</td><td>1,374</td><td>41.8</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,918</td><td>53.7</td><td>4,194</td><td>57.5</td></tr></table> 【救急車両受入台数】 単位: 台 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>受入台数</td><td>4,554</td><td>4,469</td><td>4,652</td><td>4,376</td><td>4,596</td></tr><tr><td>一日平均台数</td><td>12.5</td><td>12.2</td><td>12.7</td><td>11.9</td><td>12.5</td></tr></table> 【心臓血管手術症例数】 単位: 件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>虚血性心疾患</td><td>22</td><td>17</td><td>33</td><td>18</td><td>24</td></tr><tr><td>弁膜症</td><td>20</td><td>27</td><td>35</td><td>31</td><td>49</td></tr><tr><td>大動脈</td><td>54</td><td>40</td><td>46</td><td>34</td><td>30</td></tr></table>	年度	R3		R4		R5		項目	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)	ICU	1,531	53.9	1,722	59.0	1,778	60.9	CCU	745	68.8	747	68.2	731	66.8	HCU	957	29.4	1,000	30.4	1,088	33.1	合計	3,233	45.1	3,469	47.5	3,597	49.3	年度	R6		R7		項目	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)	ICU	1,836	62.9	2,104	72.1	CCU	730	66.7	716	65.4	HCU	1,352	41.2	1,374	41.8	合計	3,918	53.7	4,194	57.5	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	受入台数	4,554	4,469	4,652	4,376	4,596	一日平均台数	12.5	12.2	12.7	11.9	12.5	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	虚血性心疾患	22	17	33	18	24	弁膜症	20	27	35	31	49	大動脈	54	40	46	34	30	2 周産期医療 ・地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持した。 ・現在の診療体制を維持するため、継続して医師、助産師の確保に努めている。 【周産期母子医療センターの主な実績】 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>分娩件数(単位: 件)</td><td>539</td><td>529</td><td>409</td><td>472</td><td>375</td></tr><tr><td>新生児数(単位: 人)</td><td>535</td><td>566</td><td>454</td><td>469</td><td>369</td></tr><tr><td rowspan="3">年間入院 者数</td><td>NICU(単位: 人)</td><td>195</td><td>183</td><td>169</td><td>208</td><td>199</td></tr><tr><td>GCU(単位: 人)</td><td>246</td><td>212</td><td>162</td><td>158</td><td>128</td></tr><tr><td>産科(単位: 人)</td><td>604</td><td>573</td><td>474</td><td>523</td><td>432</td></tr><tr><td>母胎搬送件数(単位: 件)</td><td>73</td><td>63</td><td>41</td><td>62</td><td>62</td></tr><tr><td>新生児搬送件数(単位: 件)</td><td>93</td><td>40</td><td>45</td><td>25</td><td>35</td></tr></table> 3 がん医療 ・高精度放射線治療装置「ノバルスTx」「トゥルービーム」の2台体制により、高精度放射線治療率は60～70%であった。また、TBI 照射を新たに開始し13 例施行した。 ・今後保険適応となる見込みの新薬剤を使用したラジオセラノティクスにいち早く対応できるよう、院内勉強会を行った。 ・手術支援ロボットによる手術のうち、肝臓、すい臓にかかる手術にも対応できるよう準備を進めた。 【がん患者等の状況】 <table><tr><th>項目\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>入院患者数(単位: 人)</td><td>2,671</td><td>2,889</td><td>2,926</td><td>3,030</td><td>3,117</td></tr><tr><td>外来患者数(単位: 人)</td><td>2,162</td><td>2,221</td><td>2,189</td><td>1,969</td><td>1,858</td></tr><tr><td>手術件数</td><td>959</td><td>983</td><td>972</td><td>1,102</td><td>1,146</td></tr><tr><td rowspan="2">化学療法件数</td><td>入院</td><td>1,583</td><td>1,663</td><td>1,646</td><td>1,477</td><td>1,552</td></tr><tr><td>外来</td><td>12,528</td><td>12,871</td><td>12,683</td><td>12,338</td><td>12,397</td></tr><tr><td>放射線治療施行</td><td>入院</td><td>2,621</td><td>2,150</td><td>1,826</td><td>2,453</td><td>1,896</td></tr></table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	分娩件数(単位: 件)	539	529	409	472	375	新生児数(単位: 人)	535	566	454	469	369	年間入院 者数	NICU(単位: 人)	195	183	169	208	199	GCU(単位: 人)	246	212	162	158	128	産科(単位: 人)	604	573	474	523	432	母胎搬送件数(単位: 件)	73	63	41	62	62	新生児搬送件数(単位: 件)	93	40	45	25	35	項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7	入院患者数(単位: 人)	2,671	2,889	2,926	3,030	3,117	外来患者数(単位: 人)	2,162	2,221	2,189	1,969	1,858	手術件数	959	983	972	1,102	1,146	化学療法件数	入院	1,583	1,663	1,646	1,477	1,552	外来	12,528	12,871	12,683	12,338	12,397	放射線治療施行	入院	2,621	2,150	1,826	2,453	1,896	IV	下り搬送の件数増加や、レスパイトケアのための短期入所施設の開設を評価。
年度	R3		R4		R5																																																																																																																																																																																																															
項目	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)																																																																																																																																																																																																														
ICU	1,531	53.9	1,722	59.0	1,778	60.9																																																																																																																																																																																																														
CCU	745	68.8	747	68.2	731	66.8																																																																																																																																																																																																														
HCU	957	29.4	1,000	30.4	1,088	33.1																																																																																																																																																																																																														
合計	3,233	45.1	3,469	47.5	3,597	49.3																																																																																																																																																																																																														
年度	R6		R7																																																																																																																																																																																																																	
項目	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)	延べ患者数 (人)	病床利用率 (%)																																																																																																																																																																																																																
ICU	1,836	62.9	2,104	72.1																																																																																																																																																																																																																
CCU	730	66.7	716	65.4																																																																																																																																																																																																																
HCU	1,352	41.2	1,374	41.8																																																																																																																																																																																																																
合計	3,918	53.7	4,194	57.5																																																																																																																																																																																																																
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																																															
受入台数	4,554	4,469	4,652	4,376	4,596																																																																																																																																																																																																															
一日平均台数	12.5	12.2	12.7	11.9	12.5																																																																																																																																																																																																															
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																																															
虚血性心疾患	22	17	33	18	24																																																																																																																																																																																																															
弁膜症	20	27	35	31	49																																																																																																																																																																																																															
大動脈	54	40	46	34	30																																																																																																																																																																																																															
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																																															
分娩件数(単位: 件)	539	529	409	472	375																																																																																																																																																																																																															
新生児数(単位: 人)	535	566	454	469	369																																																																																																																																																																																																															
年間入院 者数	NICU(単位: 人)	195	183	169	208	199																																																																																																																																																																																																														
	GCU(単位: 人)	246	212	162	158	128																																																																																																																																																																																																														
	産科(単位: 人)	604	573	474	523	432																																																																																																																																																																																																														
母胎搬送件数(単位: 件)	73	63	41	62	62																																																																																																																																																																																																															
新生児搬送件数(単位: 件)	93	40	45	25	35																																																																																																																																																																																																															
項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																																															
入院患者数(単位: 人)	2,671	2,889	2,926	3,030	3,117																																																																																																																																																																																																															
外来患者数(単位: 人)	2,162	2,221	2,189	1,969	1,858																																																																																																																																																																																																															
手術件数	959	983	972	1,102	1,146																																																																																																																																																																																																															
化学療法件数	入院	1,583	1,663	1,646	1,477	1,552																																																																																																																																																																																																														
	外来	12,528	12,871	12,683	12,338	12,397																																																																																																																																																																																																														
放射線治療施行	入院	2,621	2,150	1,826	2,453	1,896																																																																																																																																																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況					その他の主な取組／課題及びその改善策（●）						自己 評価	自己評価理由																																
		<table><tr><td>その他</td><td>36</td><td>76</td><td>47</td><td>61</td><td>64</td></tr><tr><td>合 計</td><td>132</td><td>160</td><td>161</td><td>144</td><td>167</td></tr></table>	その他	36	76	47	61	64	合 計	132	160	161	144	167						<table><tr><td>回数</td><td>外来</td><td>5,914</td><td>5,453</td><td>4,660</td><td>5,081</td><td>4,776</td></tr></table>	回数	外来	5,914	5,453	4,660	5,081	4,776																			
	その他	36	76	47	61	64																																								
	合 計	132	160	161	144	167																																								
	回数	外来	5,914	5,453	4,660	5,081	4,776																																							
		【手術・検査件数】 単位：件					【がんパス件数】 単位：件																																							
		<table><tr><td>区分＼年</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>心カテ</td><td>838</td><td>762</td><td>762</td><td>617</td><td>605</td></tr><tr><td>PCI※</td><td>436</td><td>397</td><td>384</td><td>343</td><td>374</td></tr></table>	区分＼年	R3	R4	R5	R6	R7	心カテ	838	762	762	617	605	PCI※	436	397	384	343	374						<table><tr><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>13</td><td>15</td><td>25</td><td>30</td><td>16</td></tr></table>	R3	R4	R5	R6	R7	13	15	25	30	16										
	区分＼年	R3	R4	R5	R6	R7																																								
	心カテ	838	762	762	617	605																																								
	PCI※	436	397	384	343	374																																								
	R3	R4	R5	R6	R7																																									
13	15	25	30	16																																										
	※PCI：冠動脈形成術					【高精度放射線治療システム（ノバルis Tx・トゥルービーム）】																																								
	【循環器系】 単位：件					<table><tr><td>項目＼年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>患者数（単位：人）</td><td>441</td><td>435</td><td>402</td><td>447</td><td>450</td></tr><tr><td>強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）</td><td>305</td><td>296</td><td>263</td><td>313</td><td>392</td></tr><tr><td>延べ件数（単位：件）</td><td>8,911</td><td>7,940</td><td>6,754</td><td>8,064</td><td>7,228</td></tr></table>					項目＼年度	R3	R4	R5	R6	R7	患者数（単位：人）	441	435	402	447	450	強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	305	296	263	313	392	延べ件数（単位：件）	8,911	7,940	6,754	8,064	7,228												
項目＼年度	R3	R4	R5	R6	R7																																									
患者数（単位：人）	441	435	402	447	450																																									
強度変調放射線治療（IMRT）患者数（単位：人）	305	296	263	313	392																																									
延べ件数（単位：件）	8,911	7,940	6,754	8,064	7,228																																									
	<table><tr><td>区分＼年</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>アブレーション</td><td>194</td><td>260</td><td>271</td><td>265</td><td>277</td></tr><tr><td>PMI※</td><td>84</td><td>70</td><td>93</td><td>89</td><td>83</td></tr><tr><td>ICD※</td><td>16</td><td>19</td><td>16</td><td>20</td><td>17</td></tr></table>					区分＼年	R3	R4	R5	R6	R7	アブレーション	194	260	271	265	277	PMI※	84	70	93	89	83	ICD※	16	19	16	20	17						5 緩和ケア											
区分＼年	R3	R4	R5	R6	R7																																									
アブレーション	194	260	271	265	277																																									
PMI※	84	70	93	89	83																																									
ICD※	16	19	16	20	17																																									
	※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器										・患者のニーズが充足できるよう、緩和ケアチームでラウンドを実施し、一般病棟に入院中のがん患者等の症状緩和を目的に、チームでの対応を行った。																																			
	【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】										・地域の医療機関等との合同事例検討会を 22 回開催した。																																			
	<table><tr><td>項目＼年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>パス運用（単位：件）</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>登録医師数（単位：人）</td><td>63</td><td>63</td><td>63</td><td>63</td><td>63</td></tr></table>					項目＼年度	R3	R4	R5	R6	R7	パス運用（単位：件）	2	1	0	0	0	登録医師数（単位：人）	63	63	63	63	63						【緩和ケア勉強会等開催状況】 単位：回																	
項目＼年度	R3	R4	R5	R6	R7																																									
パス運用（単位：件）	2	1	0	0	0																																									
登録医師数（単位：人）	63	63	63	63	63																																									
											<table><tr><td>区分＼年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>緩和ケア勉強会</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>緩和ケア研修会</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>緩和ケア講演会</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>					区分＼年度	R3	R4	R5	R6	R7	緩和ケア勉強会	0	1	1	1	1	緩和ケア研修会	0	1	1	1	1	緩和ケア講演会	0	0	0	0	0							
区分＼年度	R3	R4	R5	R6	R7																																									
緩和ケア勉強会	0	1	1	1	1																																									
緩和ケア研修会	0	1	1	1	1																																									
緩和ケア講演会	0	0	0	0	0																																									
	6 レスパイトケアのための短期入所施設の整備・充実										【緩和ケアの患者動向】 単位：人																																			
	・医療的ケアを要する児を在宅でケアしている家族を支援するため、一時的にケアを代替する短期入所施設を 8 月に開設した。利用可否を判断するための入院は 2 人、本利用で 1 人の利用があった。										<table><tr><td>区分＼年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>入院患者数</td><td>2,323</td><td>2,107</td><td>2,541</td><td>2,807</td><td>2,286</td></tr><tr><td>外来患者数</td><td>210</td><td>205</td><td>205</td><td>215</td><td>188</td></tr></table>					区分＼年度	R3	R4	R5	R6	R7	入院患者数	2,323	2,107	2,541	2,807	2,286	外来患者数	210	205	205	215	188													
区分＼年度	R3	R4	R5	R6	R7																																									
入院患者数	2,323	2,107	2,541	2,807	2,286																																									
外来患者数	210	205	205	215	188																																									
											※令和 2 年 12 月から令和 3 年 2 月まで、新型コロナウイルス感染対策のため、緩和ケア病棟を一時休止。																																			
											4 精神科医療・感染症医療																																			
											・救急患者や他の医療機関で対応が困難な患者を受け入れた。																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
			・精神地域包括ケアシステム連携会議、東濃 3 市による自殺予防対策会議に参加し、地域の現状を把握し課題等を共有した。 【患者の受入実績】 <table> <tr> <td>病床\年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr> <td>結核、感染症</td><td>2,976</td><td>2,763</td><td>1,304</td><td>969</td><td>805</td></tr> <tr> <td>精神科</td><td>3,898</td><td>3,057</td><td>3,269</td><td>2,901</td><td>2,702</td></tr> </table> 単位：人	病床\年度	R3	R4	R5	R6	R7	結核、感染症	2,976	2,763	1,304	969	805	精神科	3,898	3,057	3,269	2,901	2,702		
病床\年度	R3	R4	R5	R6	R7																		
結核、感染症	2,976	2,763	1,304	969	805																		
精神科	3,898	3,057	3,269	2,901	2,702																		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。 ※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び東濃圏域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究等を促進すること。 ※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																		
06	※ 調査及び臨床研究等の推進 1 臨床研究及び治験の推進 2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進		1 臨床研究及び治験の推進 ・受託可能な案件がなく、新規受託はゼロとなった。 2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進 ・臨床共同研究について、関連大学等からの依頼に積極的に応じた。 【臨床研究及び治験件数】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>治験実施件数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>臨床共同研究件数</td><td>8</td><td>7</td><td>10</td><td>17</td><td>12</td></tr></table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	治験実施件数	0	0	0	0	0	臨床共同研究件数	8	7	10	17	12	Ⅲ	継続的な取組を実施しており、平年並みの実績と評価。																
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																		
治験実施件数	0	0	0	0	0																																		
臨床共同研究件数	8	7	10	17	12																																		
07	※ 診療情報等の活用 1 電子カルテシステム等に蓄積された各種医療データの有効活用 2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用		1 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用 ・診療に関する情報を分析・集計し、一元的に管理することで、各診療科医師や各部門からの要望に応じ、必要な医療情報を提供した。 ・各種医療データを活用し、稼働額や患者月報、各種算定件数を管理会議や診療報酬委員会へ報告し、病院経営や研究支援に活用した。 ・医療連携関連データについて、医療連携推進協議会を通じ、地域医師会や近隣医療機関等と情報を共有した。 ・地域医療連携ネットワークシステム「たじみのネット」を利用し、情報共有を図った。 【看護必要度】 単位：％ <table><tr><th>項目\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>当院値</td><td>33.8</td><td>32.8</td><td>34.1</td><td>37.5</td><td>36.1</td></tr><tr><td>7対1施設基準</td><td>29.0</td><td>28.0</td><td>28.0</td><td>27.0</td><td>27.0</td></tr></table> 【診療密度】 <table><tr><th>項目\改定年度</th><th>R2・R3</th><th>R4・R5</th><th>R6・R7</th></tr><tr><td>当院値</td><td>2674.42</td><td>2,759.87</td><td>2,836.73</td></tr><tr><td>Ⅱ群基準値</td><td>2476.99</td><td>2,544.49</td><td>2,537.96</td></tr><tr><td>対基準値（％）</td><td>107.8</td><td>108.5</td><td>111.8</td></tr></table>	項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7	当院値	33.8	32.8	34.1	37.5	36.1	7対1施設基準	29.0	28.0	28.0	27.0	27.0	項目\改定年度	R2・R3	R4・R5	R6・R7	当院値	2674.42	2,759.87	2,836.73	Ⅱ群基準値	2476.99	2,544.49	2,537.96	対基準値（％）	107.8	108.5	111.8	Ⅲ	QI 事業等の継続的な取組を実施しており、平年並みの実績と評価。
項目\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																		
当院値	33.8	32.8	34.1	37.5	36.1																																		
7対1施設基準	29.0	28.0	28.0	27.0	27.0																																		
項目\改定年度	R2・R3	R4・R5	R6・R7																																				
当院値	2674.42	2,759.87	2,836.73																																				
Ⅱ群基準値	2476.99	2,544.49	2,537.96																																				
対基準値（％）	107.8	108.5	111.8																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																												
			【DPC 係数】 <table><tr><th>項目\年月</th><th>R3. 4</th><th>R4. 4※</th><th>R5. 4</th><th>R6. 4※</th><th>R7. 4</th></tr><tr><td>基礎係数</td><td>1. 0680</td><td>1. 0708</td><td>1. 0680</td><td>1. 0718</td><td>1. 0718</td></tr><tr><td>暫定調整 係数</td><td>0. 0000</td><td>0. 0000</td><td>0. 0000</td><td>0. 0000</td><td>0. 0000</td></tr><tr><td>機能評価 係数Ⅱ</td><td>0. 1140</td><td>0. 1005</td><td>0. 1187</td><td>0. 1024</td><td>0. 1024</td></tr></table> ※改定年 2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・日本病院会 QI 事業や京都大学 QIP 事業に引き続き参加してデータを提出し、フィードバックされたベンチマーク結果を医療の質向上委員会に報告し、医療の質の向上に活用した。 ・厚生労働省指定項目目標を病院ホームページに公開し、それに対する DPC 病院指数を確保した。 ・DPC データや各種情報システム（MIL・EVE・メディカルコード）を活用し、診療報酬委員会においてデータ分析や分析結果の検討を行い、関係診療科や関係部門と収益増加に努めた。 【QI 指標項目数】 単位：個 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>40</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td><td>36</td></tr></table> 【がん登録件数】 単位：件 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>1, 790</td><td>2, 597</td><td>2, 036</td><td>1, 997</td><td>1, 829</td></tr></table>	項目\年月	R3. 4	R4. 4※	R5. 4	R6. 4※	R7. 4	基礎係数	1. 0680	1. 0708	1. 0680	1. 0718	1. 0718	暫定調整 係数	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	機能評価 係数Ⅱ	0. 1140	0. 1005	0. 1187	0. 1024	0. 1024	R3	R4	R5	R6	R7	40	36	36	36	36	R3	R4	R5	R6	R7	1, 790	2, 597	2, 036	1, 997	1, 829		
項目\年月	R3. 4	R4. 4※	R5. 4	R6. 4※	R7. 4																																												
基礎係数	1. 0680	1. 0708	1. 0680	1. 0718	1. 0718																																												
暫定調整 係数	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000																																												
機能評価 係数Ⅱ	0. 1140	0. 1005	0. 1187	0. 1024	0. 1024																																												
R3	R4	R5	R6	R7																																													
40	36	36	36	36																																													
R3	R4	R5	R6	R7																																													
1, 790	2, 597	2, 036	1, 997	1, 829																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。 ※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入を行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム等と連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの基幹又は連携施設として、専攻医の育成に努めること。 ※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
08	※ 医師の卒後臨床研修等の充実 1 質の高い臨床研修医の養成等 2 専攻医の育成等		1 質の高い臨床研修医の養成等 ・研修医の資質の向上に寄与するため、岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、名古屋大学等から講師を招聘し、研修を行った。 ① 総合診療教育カンファレンス：3月末までに計8回開催した。 ② 感染症講義：3月末までに計8回開催した。 ・内科症例検討会を月1回開催し、研修医自らが症例提示を行った。 ・研修医に対し、各診療科部長による実践的な講義（毎月2診療科）を開催した（計24回開催）。また、若手先輩医師を講師とした勉強会を月1回開催した（計12回開催）。 【医師の研修派遣実績人数】 単位：人 <table border="1"> <tr> <td>区分\年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> </table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	III	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																				
			<table><tr><td>派遣</td><td>309</td><td>432</td><td>525</td><td>524</td><td>513</td></tr></table> 【職員を対象とした外部講師開催実績】 単位：人 <table><tr><th>開催日</th><th>講演会等名</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr><tr><td>9/4</td><td>身体的拘束最小化研修会 「身体拘束ゼロ病棟達成に向けて」</td><td>聖隷三方原病院看護部課長・老人専門看護師 佐藤晶子先生</td><td>WEB</td></tr><tr><td>9/18</td><td>災害対策講演会 「日常に潜む危険、大雨避難～自分と家族とみんなの命を守るために～」</td><td>九州国際大学 現代ビジネス学部 准教授 村岡 治道 先生</td><td>WEB</td></tr><tr><td>11/4</td><td>医療接遇研修 「心に響く瞬間の創り方」</td><td>自律進化組織研究所 三好章樹</td><td>WEB</td></tr></table> 【研修医を対象とした外部講師による講演開催実績】 単位：人 <table><tr><th>講演会等名</th><th>回数</th><th>講師</th><th>参加者</th></tr><tr><td>総合診療教育カンファレンス</td><td>8</td><td>名古屋大学 近藤猛</td><td>137</td></tr><tr><td>感染症講義</td><td>8</td><td>岐阜大学 手塚直行</td><td>179</td></tr></table> 【初期臨床研修医数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>医師</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td></tr><tr><td>歯科医師</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr></table> 2 専攻医に対する育成等 ・内科領域、外科領域及び精神科領域の専門研修プログラムの基幹施設として専攻医を募集し、内科医師5名、外科医師1名を採用した。 ・内科専門研修プログラムの基幹施設として、公立陶生病院内科専門研修プログラムと合同で症例検討会を8月と2月に実施した。 ・内科専門研修プログラムの基幹施設として、JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS 講習会）を開催し、当院内科専門研修プログラムの専攻医（1年目）2名が受講した。 【専攻医（レジデント）数】 単位：人（各年度末時点）	派遣	309	432	525	524	513	開催日	講演会等名	講師	参加者	9/4	身体的拘束最小化研修会 「身体拘束ゼロ病棟達成に向けて」	聖隷三方原病院看護部課長・老人専門看護師 佐藤晶子先生	WEB	9/18	災害対策講演会 「日常に潜む危険、大雨避難～自分と家族とみんなの命を守るために～」	九州国際大学 現代ビジネス学部 准教授 村岡 治道 先生	WEB	11/4	医療接遇研修 「心に響く瞬間の創り方」	自律進化組織研究所 三好章樹	WEB	講演会等名	回数	講師	参加者	総合診療教育カンファレンス	8	名古屋大学 近藤猛	137	感染症講義	8	岐阜大学 手塚直行	179	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	医師	24	24	24	24	24	歯科医師	2	2	2	2	2		
派遣	309	432	525	524	513																																																				
開催日	講演会等名	講師	参加者																																																						
9/4	身体的拘束最小化研修会 「身体拘束ゼロ病棟達成に向けて」	聖隷三方原病院看護部課長・老人専門看護師 佐藤晶子先生	WEB																																																						
9/18	災害対策講演会 「日常に潜む危険、大雨避難～自分と家族とみんなの命を守るために～」	九州国際大学 現代ビジネス学部 准教授 村岡 治道 先生	WEB																																																						
11/4	医療接遇研修 「心に響く瞬間の創り方」	自律進化組織研究所 三好章樹	WEB																																																						
講演会等名	回数	講師	参加者																																																						
総合診療教育カンファレンス	8	名古屋大学 近藤猛	137																																																						
感染症講義	8	岐阜大学 手塚直行	179																																																						
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																				
医師	24	24	24	24	24																																																				
歯科医師	2	2	2	2	2																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
			<table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>医師</td><td>21</td><td>18</td><td>28</td><td>26</td><td>27</td></tr><tr><td>歯科医師</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr></table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	医師	21	18	28	26	27	歯科医師	2	1	1	0	1																								
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																								
医師	21	18	28	26	27																																								
歯科医師	2	1	1	0	1																																								
09	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入 2 救急救命士の病院実習等 地域医療従事者への研修の 実施及び充実 3 岐阜県立多治見看護専門 学校での看護師養成に対す る支援		1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入 ・医学生について、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等関連大学から、積極的に実習の受入を行った。また、看護学生やコメディカルも同様に大学や専門学校からの実習を積極的に受け入れた。 【学生の実習受入状況】 単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>医学生</td><td>41</td><td>46</td><td>57</td><td>42</td><td>46</td></tr><tr><td>看護学生</td><td>424</td><td>253</td><td>663</td><td>671</td><td>799</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>73</td><td>94</td><td>51</td><td>41</td><td>72</td></tr><tr><td>合 計</td><td>538</td><td>393</td><td>771</td><td>754</td><td>917</td></tr></table> 【医学生の見学受入状況】 単位：人 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>65</td><td>70</td><td>109</td><td>124</td><td>125</td></tr></table> 2 救急救命士の病院実習等地域医療従事者への研修の実施及び充実 ・東濃5市の各消防本部に向け、生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習のほか、救急搬入後の事後検証会を定期的に実施し、医療技術の向上を図った。 【救急救命士の研修実績状況】 単位：人	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	医学生	41	46	57	42	46	看護学生	424	253	663	671	799	コメディカル	73	94	51	41	72	合 計	538	393	771	754	917	R3	R4	R5	R6	R7	65	70	109	124	125	Ⅲ	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																								
医学生	41	46	57	42	46																																								
看護学生	424	253	663	671	799																																								
コメディカル	73	94	51	41	72																																								
合 計	538	393	771	754	917																																								
R3	R4	R5	R6	R7																																									
65	70	109	124	125																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td><td>83</td><td>82</td><td>84</td><td>81</td><td>87</td></tr> <tr> <td>就業前実習</td><td>9</td><td>5</td><td>5</td><td>9</td><td>9</td></tr> <tr> <td>気管挿管実習</td><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td><td>6</td><td>2</td><td>1</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>104</td><td>95</td><td>98</td><td>101</td><td>108</td></tr> </tbody> </table> 3 岐阜県立多治見看護専門学校での看護師養成に対する支援 ・県立多治見看護専門学校に対して、当院の医師・看護師等を専任教員又は非常勤講師として派遣し、看護師養成を支援した。	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	生涯教育実習	83	82	84	81	87	就業前実習	9	5	5	9	9	気管挿管実習	6	6	8	5	6	薬剤投与実習	6	2	1	6	6	合 計	104	95	98	101	108		
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																				
生涯教育実習	83	82	84	81	87																																				
就業前実習	9	5	5	9	9																																				
気管挿管実習	6	6	8	5	6																																				
薬剤投与実習	6	2	1	6	6																																				
合 計	104	95	98	101	108																																				

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。 ※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、東濃圏域の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援を充実させ、地域医療の確保に努めること。 ※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。 ※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況				その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																			
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保	2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保 ・国民健康保険上矢作病院へ週に1度、医師1名を当直業務に派遣した。 ・土岐市立総合病院へ週に2回、医師1名を当直業務に派遣した。(1月末まで) ・東濃厚生病院(腎臓内科)へ毎週月曜日に医師1名を派遣した。(1月末まで) ・2月からは公立東濃中部医療センターへ毎週月曜日に医師1名を派遣した。 <table><tr><th>派遣医療機関</th><th>派遣状況 (R3)</th><th>派遣状況 (R4)</th><th>派遣状況 (R5)</th></tr><tr><td>国民健康保険上矢作病院</td><td>週1回(当直業務) 1人(11人で交代)</td><td>週1回(当直業務) 1人(5人で交代)</td><td>週1回(当直業務) 1人(5人で交代)</td></tr><tr><td>土岐市立総合病院</td><td>毎週金曜日(当直業務) (4人で交代)</td><td>・毎週金曜日(当直業務) (4人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代) ・循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</td><td>・毎週金曜日(当直業務) (4人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代) ・循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)</td></tr></table> <table><tr><th>派遣医療機関</th><th>派遣状況 (R6)</th><th>派遣状況 (R7)</th></tr><tr><td>国民健康保険上矢作病院</td><td>週1回(当直業務) 1人(5人で交代)</td><td>週1回(当直業務) 1人(4人で交代)</td></tr></table>				派遣医療機関	派遣状況 (R3)	派遣状況 (R4)	派遣状況 (R5)	国民健康保険上矢作病院	週1回(当直業務) 1人(11人で交代)	週1回(当直業務) 1人(5人で交代)	週1回(当直業務) 1人(5人で交代)	土岐市立総合病院	毎週金曜日(当直業務) (4人で交代)	・毎週金曜日(当直業務) (4人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代) ・循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)	・毎週金曜日(当直業務) (4人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代) ・循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)	派遣医療機関	派遣状況 (R6)	派遣状況 (R7)	国民健康保険上矢作病院	週1回(当直業務) 1人(5人で交代)	週1回(当直業務) 1人(4人で交代)	1 地域医療水準の向上 ・岐阜県病院協会医学会にて、当院からは3名が座長を務め、6演題を発表した。 ・土岐医師会主催の東濃医学会学術集会にて、当院は5演題を発表した。		IV	医師不足地域や診療科等への医師派遣を継続した実績を評価。
派遣医療機関	派遣状況 (R3)	派遣状況 (R4)	派遣状況 (R5)																								
国民健康保険上矢作病院	週1回(当直業務) 1人(11人で交代)	週1回(当直業務) 1人(5人で交代)	週1回(当直業務) 1人(5人で交代)																								
土岐市立総合病院	毎週金曜日(当直業務) (4人で交代)	・毎週金曜日(当直業務) (4人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代) ・循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)	・毎週金曜日(当直業務) (4人で交代) ・消化器内科 毎週火曜日と木曜日(4人で交代) ・循環器内科 毎週木曜日(2人で交代)																								
派遣医療機関	派遣状況 (R6)	派遣状況 (R7)																									
国民健康保険上矢作病院	週1回(当直業務) 1人(5人で交代)	週1回(当直業務) 1人(4人で交代)																									

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況			その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		土岐市立総合 病院	・毎週金曜日（当直業務）（4人で交代） ・消化器内科 毎週火曜日と木曜日（4人で交代） ・循環器内科 毎週木曜日（2人で交代）※5月31日まで	・毎週金曜日（当直業務）（4人で交代）※1月31日まで ・消化器内科 毎週火曜日と木曜日（4人で交代）※1月31日まで			
		東濃厚生病院		・腎臓内科 毎週月曜日（6人で交代）※1月31日までは東濃厚生病院、2月1日からは東濃中部医療センターへ派遣			

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																														
11	※ 社会的な要請への協力		・大学、専門学校等からの要請に応じ、講師の派遣や実習生の受入を行った。 ・「ふれあい看護体験」を7月に開催し、合計65名の高校生が参加した。 ・多治見市内の中学生の職場体験に各部署で協力した。 ・健康づくり講座への講師として医師、看護師及びコメディカルの職員を派遣した。 【講師等派遣の状況】単位：人 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>医師</td><td>197</td><td>191</td><td>199</td><td>193</td><td>225</td></tr><tr><td>看護師</td><td>39</td><td>53</td><td>72</td><td>62</td><td>58</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>17</td><td>14</td><td>26</td><td>41</td><td>22</td></tr><tr><td>合 計</td><td>253</td><td>258</td><td>297</td><td>296</td><td>305</td></tr></table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	医師	197	191	199	193	225	看護師	39	53	72	62	58	コメディカル	17	14	26	41	22	合 計	253	258	297	296	305	Ⅲ	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																														
医師	197	191	199	193	225																														
看護師	39	53	72	62	58																														
コメディカル	17	14	26	41	22																														
合 計	253	258	297	296	305																														
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・8月に「脳にいいこと、始めませんか？～認知症の予防と治療～」と題して、名古屋大学 脳とこころの研究センターの小倉礼先生の公開講座を開催した。当日は350人が来場した。 ・地域住民を対象とした健康づくり講座を22回開催した。 【市民公開講座】単位：人 <table><tr><th>開催日</th><th>講演会等名</th><th>参加者</th></tr><tr><td>8/30</td><td>脳にいいこと、始めませんか？～認知症の予防と治療～</td><td>350人</td></tr></table>	開催日	講演会等名	参加者	8/30	脳にいいこと、始めませんか？～認知症の予防と治療～	350人	2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・病院広報誌「けんびょういん」について、各診療科の新しい治療等について取り上げ、9月と3月に発行した。 ・地域情報誌において、隔月で医療情報を発信した。 ・公式LINEで病院イベントを周知し、あわせて広報誌での紙面を活用して情報発信した。	Ⅳ	市民公開講座や健康づくり講座を実施し、積極的な情報発信を実施した実績を評価。																								
開催日	講演会等名	参加者																																	
8/30	脳にいいこと、始めませんか？～認知症の予防と治療～	350人																																	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム（以下「DMAT」という。）、災害派遣精神医療チーム（以下「DPAT」という。）の派遣など医療救護を行うことを求める。
	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入や医療スタッフの現地派遣など岐阜県あるいは東濃圏域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 地域災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるよう、食料、飲料水、燃料等の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。 ※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づき DMAT 及び DPAT を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。 ※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 被災した病院の課題や支援を通じた分析等に基づき、大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画（BCP）の見直し、訓練等を継続的に実施すること。 ※ 新興感染症発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等（新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。）発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入、重症症例の治療等を行うこと。 また、感染症指定医療機関として、平時から患者受入れ体制を整備するとともに、東濃圏域の医療機関に対して医療情報の提供など指導的役割を担うこと。 ※ 医療的ケア児の短期入所施設の運営 医療的ケアを要する児を在宅でケアしている家族の支援のため、一時的にケアを代替するレスパイトケアのための短期入所機能の充実を図ること

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由											
13	※ 医療救護活動の拠点機能の 充実 1 医療救護活動の拠点機能の 充実 2 災害拠点病院としての機能 強化		1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・中央診療棟等における傷病者受入を想定した災害実動訓練を実施した。 【災害訓練の実績】 <table><tr><th>訓練内容</th><th>開催日</th><th>備考</th></tr><tr><td>災害実動訓練</td><td>10/24</td><td>災害対策本部訓練および傷病者受入想定訓練</td></tr><tr><td rowspan="2">消防訓練</td><td>7/16</td><td>平日の出火を想定した机上訓練</td></tr><tr><td>2/26</td><td>休日の出火を想定した実動訓練</td></tr></table> 2 災害拠点病院としての機能強化 ・新たに他職種職員で構成する災害対策部を設置し、災害実動訓練等を主導した。	訓練内容	開催日	備考	災害実動訓練	10/24	災害対策本部訓練および傷病者受入想定訓練	消防訓練	7/16	平日の出火を想定した机上訓練	2/26	休日の出火を想定した実動訓練	Ⅲ	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。
訓練内容	開催日	備考														
災害実動訓練	10/24	災害対策本部訓練および傷病者受入想定訓練														
消防訓練	7/16	平日の出火を想定した机上訓練														
	2/26	休日の出火を想定した実動訓練														

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由						
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 DMAT 及びDPAT の質の向上と維持 2 大規模災害発生時の DMAT 及びDPAT の派遣		1 DMAT 及びDPAT の質の向上と維持 ・令和6年能登半島地震の派遣を機に、訓練や毎月の定例会等を拡充し、大規模災害に対応できる体制を維持している。 ・国が主催する大規模地震時の医療活動訓練に参加した。 ・災害支援ナースの研修に8名が受講した。 ・中部ブロック訓練に参加した。 1 DMAT の質の向上と維持 【主な DMAT 活動訓練等実績】 <table><tr><th>実施期間</th><th>訓練内容</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>11/14～15</td><td>中部ブロック DMAT 実動訓練</td><td>8</td></tr></table> 2 大規模災害発生時の DMAT 及びDPAT の派遣 ・DMAT 及びDPAT 共に派遣は無かった。	実施期間	訓練内容	参加人数	11/14～15	中部ブロック DMAT 実動訓練	8	Ⅲ	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。
実施期間	訓練内容	参加人数									
11/14～15	中部ブロック DMAT 実動訓練	8									
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 2 診療情報のバックアップシステムの適正管理		1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 ・BCP や災害対策マニュアルの検証を目的とした実動訓練をDMAT、DPAT と合同で実施した。 2 診療情報のバックアップシステムの適正管理 ・被災時やサイバー攻撃においても診療情報が失われないよう、内部及び外部それぞれに最新のデータだけでなく、世代別バックアップを行い診療データの保全に努めている。	Ⅲ	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。						
16	※ 新興感染症発生時における役割の発揮 1 新興感染症発生時における受入れ体制の整備 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 3 感染症指定医療機関として		1 新興感染症発生時における受入体制の整備 ・第1種協定指定医療機関として流行初期段階から入院や発熱外来の受入等を行う体制を継続している。 ・個人防護具等の在庫について、県で30日分備蓄見込みであることを考慮し、院内で60日分確保した。 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・新型インフルエンザ等発生時における業務計画に基づき、業務計画の見直しや職員への教育及び訓練を実施している。	Ⅲ	継続的な取組が実施できており、平年並みの実績と評価。						

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
	の役割の発揮		3 感染症指定医療機関としての役割の発揮 ・感染症指定医療機関及び感染対策向上加算算定病院として、地域の医療機関や保健所と連携し、感染症に係る情報共有や感染対策の支援を行った。 ・東濃地区の医療機関とのカンファレンスを年4回実施し、感染症に係る感染対策や治療等について情報交換を行い、施設等からの質問に対応した。		
17	※ 医療的ケア児の短期入所施設の運営 1 機能の充実	1 機能の充実 ・医療的ケアを要する児を在宅でケアしている家族の支援のため、一時的にケアを代替するレスパイトケアのための短期入所施設を令和7年8月に開設した。		IV	短期入所施設を開設したことを評価。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組み

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自主性・効率性・透明性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 組織体制の充実	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。
		ICT（情報通信技術）などの活用や適切なアウトソーシング等により、医師を含めた職員の時間外業務を縮減するなど、経営効率の高い業務執行体制の充実を図ること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用	医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、職員配置の在り方を検証し、弾力的に運用すること。
		また、常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価制度の運用	人事評価制度により職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めること。
	※ 人材確保・育成方針	地域の医療需要、職員の労務環境、病院の経営状況などから職員の必要数を精査した上で、計画的に確保及び育成を行うこと。
		医療部門においては、医療需要に的確に対応できる医師・看護師を確保するとともに、高度・多様化する医療の提供や医師及び看護師のタスク・シフティングに資する医療従事者、医師事務作業補助者等の確保及び育成により、提供する医療水準の維持・向上を図ること。
		事務部門においては、病院特有の事務に精通した法人職員の計画的な確保及び育成により、専門性の向上を図ること。
	※ 医療 DX への対応	電子処方箋の利用拡大、救急時にレセプト情報から患者の医療情報を閲覧できる仕組みの整備、電子カルテ情報の標準化など、国において進める医療 DX の各施策の状況を随時把握し、導入について検討すること
	※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理	医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（厚生労働省）に基づく情報セキュリティ対策を徹底するとともに、常に最新のセキュリティ危機事案に関する情報収集を行い、対策の向上に努めること。
		また、職員に対する研修を定期的実施し、情報セキュリティや個人情報保護に対する意識と知識の向上に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
18	※ 組織体制の充実 1 組織体制の充実 2 ICT（情報通信技術）等の活用、アウトソーシング等による経営効率の高い業務執行体制の充実	2 ICT（情報通信技術）等の活用、アウトソーシング等による経営効率の高い業務執行体制の充実 ・生成 AI によるカルテ上のサマリー自動作成機能により、医師をはじめとする職員の業務負担軽減につながった。	1 組織体制の充実 ・医療環境の変化や医療需要に的確に対応できるよう、弾力的な診療体制づくりを進めた。	IV	ICT を活用し看護師の負担軽減に貢献したことを評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
19	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 人員配置の検証及び弾力的運用 2 効果的な体制による医療の提供		1 人員配置の検証及び弾力的運用 ・効率性・透明性の高い業務運営を目標とし、当院が有する各種機能が効果的に働く組織体制の充実に取り組んだ。 2 効果的な体制による医療の提供 ・看護師や臨床検査技師、医師事務作業補助者等、多職種の非常勤職員（派遣職 9 名を含む）を 47 名採用した。 ・医師事務作業補助者を 29 名配置しており、医師の負担軽減を図った。 ・看護師の負担軽減のため、看護補助者（看護助手）及び派遣職員を採用した。	III	人員の配置、採用等については概ね平年並みと評価。																								
20	※ 人事評価システムの運用 1 人事評価システムの運用		1 人事評価システムの運用 ・目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。	III	例年どおりの運用であり、平年並みと評価。																								
21	※ 人材確保・育成方針 1 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 2 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 3 特定行為看護師、専門看護師等の資格取得の促進 4 コメディカルに対する専門研修の実施 5 事務職員の確保及び育成	1 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 ・常勤の看護師 6 人、コメディカル職員 3 人を中途採用した。 ・看護師 62 人、助産師 2 人、コメディカル 11 人を R 8 年 4 月の新規職員として採用した。 ・看護師・助産師の確保については、学校訪問を積極的に行い、県内 14 校、県外 14 校に訪問した。 【医療従事者数（常勤）】（各年度末時点） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>156</td><td>165</td><td>163</td><td>165</td><td>167</td></tr> <tr> <td>看護師・助産師</td><td>477</td><td>446</td><td>453</td><td>451</td><td>461</td></tr> <tr> <td>コメディカル</td><td>199</td><td>198</td><td>201</td><td>205</td><td>211</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	医師	156	165	163	165	167	看護師・助産師	477	446	453	451	461	コメディカル	199	198	201	205	211	2 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による研修を実施した。（計 18 回開催。） ・岐阜県医師確保育成コンソーシアムが岐阜大学で開催する臨床研修指導医講習会を上級医 1 名が受講した。 ・基幹施設（内科・外科・精神科領域）としてプログラムの見直しを行い、日本専門医機構の承認を得た。 3 特定行為看護師、専門看護師等の資格取得の促進 ・認定看護師教育課程研修を 3 名が修了した。 ・放射線看護認定看護師、新生児集中ケア認定看護師、感染管理認定看護師、認定看護管理者認定資格をそれぞれ 1 名取得した。 4 コメディカルに対する専門研修の実施 ・薬剤部は自治医科大学研修会や岐阜県病院薬剤師会東濃ブロック会が開催する研修会などに参加した。 ・中央放射線部は日本医学物理士講習会や日本放射線技師公示研修などに参加した。 ・リハビリ科は、がんのリハビリテーション新規従事者研修や ICU 等急性期リハビリテーション関連研修会などに参加した。 ・臨床工学部は臨床工学技士の業務範囲が新たに追加されたことによる研修などに参加した。 ・栄養管理部は NST 実地修練や日本病態栄養学会などに参加した。	IV	看護師の新規採用職員数が例年に比べ増加した実績を評価。
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																								
医師	156	165	163	165	167																								
看護師・助産師	477	446	453	451	461																								
コメディカル	199	198	201	205	211																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																														
		【認定看護師・専門看護師数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分</th><th>分野</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td rowspan="20">認定</td><td>皮膚・排泄ケア</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>集中ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>緩和ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>がん化学療法看護</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>がん性疼痛看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>感染管理</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>新生児集中ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>摂食・嚥下障害看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>救急看護（クリティカルケア看護へ移行）</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>慢性心不全看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>脳卒中リハビリテーション看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>糖尿病看護</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>認知症看護</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>訪問看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>手術看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>透析看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>心不全看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>小 計</td><td>25</td><td>24</td><td>24</td><td>22</td><td>22</td></tr><tr><td rowspan="2">専門</td><td>がん看護</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>急性・救急看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2">認定看護管理者</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	区分	分野	R3	R4	R5	R6	R7	認定	皮膚・排泄ケア	3	2	2	2	2	集中ケア	2	2	2	2	1	緩和ケア	1	1	1	1	1	がん化学療法看護	3	3	3	3	3	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1	感染管理	2	2	2	2	2	新生児集中ケア	1	1	1	0	0	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1	救急看護（クリティカルケア看護へ移行）	1	1	1	1	2	慢性心不全看護	1	1	1	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1	糖尿病看護	2	2	2	1	1	認知症看護	2	2	2	2	2	訪問看護	1	1	1	1	1	手術看護	1	1	1	1	1	透析看護	1	1	1	1	1	心不全看護	1	1	1	1	1	小 計	25	24	24	22	22	専門	がん看護	3	3	3	2	2	急性・救急看護	1	1	1	1	1	認定看護管理者		1	1	1	1	1	【コメディカル 資格認定更新状況】 単位：件 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>薬剤師</td><td>9</td><td>3</td><td>8</td><td>13</td><td>5</td></tr><tr><td>放射線技師</td><td>8</td><td>33</td><td>15</td><td>12</td><td>20</td></tr><tr><td>臨床検査技師</td><td>3</td><td>3</td><td>6</td><td>8</td><td>36</td></tr><tr><td>臨床工学技士</td><td>2</td><td>7</td><td>12</td><td>15</td><td>15</td></tr><tr><td>リハビリ技師</td><td>22</td><td>33</td><td>28</td><td>29</td><td>20</td></tr><tr><td>管理栄養士</td><td>0</td><td>4</td><td>3</td><td>7</td><td>1</td></tr><tr><td>合 計</td><td>44</td><td>83</td><td>72</td><td>84</td><td>97</td></tr></table> 5 事務職員の確保及び育成 ・ R 8年4月入職の事務職員4人を採用した。 <table><tr><th>対象\年度</th><th>R7</th></tr><tr><td>新規採用職員の主な研修</td><td>4月新規採用オリエンテーション及び接遇研修</td></tr><tr><td>階層別マネジメント研修</td><td>14名が年2回受講</td></tr></table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	薬剤師	9	3	8	13	5	放射線技師	8	33	15	12	20	臨床検査技師	3	3	6	8	36	臨床工学技士	2	7	12	15	15	リハビリ技師	22	33	28	29	20	管理栄養士	0	4	3	7	1	合 計	44	83	72	84	97	対象\年度	R7	新規採用職員の主な研修	4月新規採用オリエンテーション及び接遇研修	階層別マネジメント研修	14名が年2回受講		
区分	分野	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																													
認定	皮膚・排泄ケア	3	2	2	2	2																																																																																																																																																																																													
	集中ケア	2	2	2	2	1																																																																																																																																																																																													
	緩和ケア	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	がん化学療法看護	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																													
	がん性疼痛看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	感染管理	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																													
	新生児集中ケア	1	1	1	0	0																																																																																																																																																																																													
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	救急看護（クリティカルケア看護へ移行）	1	1	1	1	2																																																																																																																																																																																													
	慢性心不全看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	糖尿病看護	2	2	2	1	1																																																																																																																																																																																													
	認知症看護	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																													
	訪問看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	手術看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	透析看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	心不全看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
	小 計	25	24	24	22	22																																																																																																																																																																																													
	専門	がん看護	3	3	3	2	2																																																																																																																																																																																												
		急性・救急看護	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																												
認定看護管理者		1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																													
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																																														
薬剤師	9	3	8	13	5																																																																																																																																																																																														
放射線技師	8	33	15	12	20																																																																																																																																																																																														
臨床検査技師	3	3	6	8	36																																																																																																																																																																																														
臨床工学技士	2	7	12	15	15																																																																																																																																																																																														
リハビリ技師	22	33	28	29	20																																																																																																																																																																																														
管理栄養士	0	4	3	7	1																																																																																																																																																																																														
合 計	44	83	72	84	97																																																																																																																																																																																														
対象\年度	R7																																																																																																																																																																																																		
新規採用職員の主な研修	4月新規採用オリエンテーション及び接遇研修																																																																																																																																																																																																		
階層別マネジメント研修	14名が年2回受講																																																																																																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
22	※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底 1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底		1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 ・新規採用オリエンテーション時に、サービスと倫理について、関係法令、規則、規程の説明を行った。 ・コンプライアンス研修として、個人情報保護とハラスメント防止について動画による研修を実施した。 ・監事監査を毎月実施し、適正な業務執行の確認体制を継続した。 ・委託業務評価について、2 業者を抽出し業務が適切に実施されているか確認を行い、業務の改善、向上を図った。 ・内部統制について、監査法人と委託契約を締結し、昨年度に識別されたリスクへの対応状況や、収益認識基準の導入における内部統制への影響、令和2年度作成のリスクインテリジェントマップの見直しを行い、令和7年度の取組みについて、内部統制委員会、リスク管理委員会へ報告し、リスク等の共有を図った。 【コンプライアンス研修開催実績】 単位：人 <table><tr><th>開催期間</th><th>講師・開催回数</th><th>参加者</th></tr><tr><td>R7. 4. 1 新規採用オリエンテーション</td><td>「サービスと倫理」 講師：総務課長 栗野康裕</td><td>新規採用者</td></tr><tr><td>R7. 5～6 月 動画視聴</td><td>SafetyPlus「個人情報・プライバシー」</td><td>全職員</td></tr><tr><td>R7. 12 ～ R8. 1 月 動画視聴</td><td>SafetyPlus「ハラスメント防止」</td><td>全職員</td></tr></table>	開催期間	講師・開催回数	参加者	R7. 4. 1 新規採用オリエンテーション	「サービスと倫理」 講師：総務課長 栗野康裕	新規採用者	R7. 5～6 月 動画視聴	SafetyPlus「個人情報・プライバシー」	全職員	R7. 12 ～ R8. 1 月 動画視聴	SafetyPlus「ハラスメント防止」	全職員	Ⅲ	例年どおりの取組みであり、平年並みと評価。
開催期間	講師・開催回数	参加者															
R7. 4. 1 新規採用オリエンテーション	「サービスと倫理」 講師：総務課長 栗野康裕	新規採用者															
R7. 5～6 月 動画視聴	SafetyPlus「個人情報・プライバシー」	全職員															
R7. 12 ～ R8. 1 月 動画視聴	SafetyPlus「ハラスメント防止」	全職員															
23	※ 適切な情報管理 1 情報セキュリティ対策の充実・強化等 2 情報セキュリティや個人情報保護に対する教育	1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 ・情報セキュリティポリシー「情報システムに関する規則」を周知するため、新採職員向けの研修会を行った。 ・サイバー攻撃対策訓練を岐阜県警察や多治見警察署等の協力のもと、1月に実施した。 2 情報セキュリティに対する意識向上 ・e-learning による情報セキュリティ研修や院内メールの掲示板等を活用して情報セキュリティに係る啓発を実施した。		Ⅳ	職員の育成やサイバー攻撃対策訓練を実施した実績を評価。												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。 ※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約等多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。 ※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、未収金の発生防止や早期回収等により、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。 ※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品の採用などによる費用の節減により経営の効率化に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
24	※ 多様な契約手法の導入 1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施	1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施 - 医療材料の調達業務について、共同購入組織と委託契約を締結したことにより、契約事務の簡素化および経費削減を進めた。 - 共同購入組織と共同での価格交渉の結果、年間で 3,000 万円以上の削減効果を得た。 - 医療機器の調達については、緊急性や費用対効果を考慮し整備すべきものを厳選したうえで、リース等の効果的な契約手法の検討、原則 2 機種以上での比較検討及び競争入札等を実施し、整備費用の削減に努めた。医療機器の保守点検については、極力複数年契約とすることで費用の削減に努めた。		IV	多様な契約手法を導入し事務量省力化と価格低減を図った実績を評価。
25	※ 収入の確保 1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 2 未収金の発生防止対策等 3 国の医療制度改革や診療報酬改定等への迅速な対応		1 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 - 高度医療機器の共同利用について、開業医への訪問活動等を通じて継続的に検査情報を提供しながら PR した。昨年度の同程度の 2,206 件の利用があった。 - 収益と費用の状況を継続的に注視した。	III	未収金の発生防止等継続的に取り組んでいるが、未収金額が増えており平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																						
			<table><tr><th colspan="7">【病床管理状況】</th></tr><tr><th colspan="2">項目 年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td colspan="2">新規入院患者 (単位：人)</td><td>13,966</td><td>13,159</td><td>12,563</td><td>12,773</td><td>12,777</td></tr><tr><td colspan="2">延べ入院患者 (単位：人)</td><td>159,465</td><td>144,878</td><td>139,020</td><td>139,541</td><td>136,750</td></tr><tr><td rowspan="2">平均 在院 日数 (単位：日)</td><td>全体</td><td>10.4</td><td>10.0</td><td>10.1</td><td>9.9</td><td>9.7</td></tr><tr><td>一般</td><td>10.2</td><td>9.8</td><td>9.8</td><td>9.7</td><td>9.5</td></tr><tr><td rowspan="2">一人 当たり 入院単 価 (単位：円)</td><td>全体</td><td>78,220</td><td>83,559</td><td>85,168</td><td>87,140</td><td>92,693</td></tr><tr><td>一般</td><td>79,931</td><td>85,072</td><td>87,192</td><td>89,338</td><td>94,891</td></tr></table>	【病床管理状況】							項目 年度		R3	R4	R5	R6	R7	新規入院患者 (単位：人)		13,966	13,159	12,563	12,773	12,777	延べ入院患者 (単位：人)		159,465	144,878	139,020	139,541	136,750	平均 在院 日数 (単位：日)	全体	10.4	10.0	10.1	9.9	9.7	一般	10.2	9.8	9.8	9.7	9.5	一人 当たり 入院単 価 (単位：円)	全体	78,220	83,559	85,168	87,140	92,693	一般	79,931	85,072	87,192	89,338	94,891		
【病床管理状況】																																																											
項目 年度		R3	R4	R5	R6	R7																																																					
新規入院患者 (単位：人)		13,966	13,159	12,563	12,773	12,777																																																					
延べ入院患者 (単位：人)		159,465	144,878	139,020	139,541	136,750																																																					
平均 在院 日数 (単位：日)	全体	10.4	10.0	10.1	9.9	9.7																																																					
	一般	10.2	9.8	9.8	9.7	9.5																																																					
一人 当たり 入院単 価 (単位：円)	全体	78,220	83,559	85,168	87,140	92,693																																																					
	一般	79,931	85,072	87,192	89,338	94,891																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																															
			(参考) <table><tr><th>項目\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>一日当たり外来患者数 (単位：人)</td><td>1,068</td><td>1,086</td><td>1,057</td></tr><tr><td>一人当たり外来単価 (単位：円)</td><td>21,346</td><td>21,602</td><td>23,580</td></tr></table> <table><tr><th>項目\年度</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>一日当たり外来患者数 (単位：人)</td><td>1,091</td><td>1,112</td></tr><tr><td>一人当たり外来単価 (単位：円)</td><td>24,167</td><td>26,183</td></tr></table> 2 未収金の発生防止対策等 ・未収が発生する可能性がある患者について、事前に医事担当や医療相談担当、各市の行政担当者と連携を図り、未収防止に努めた。 ・診療費の回収を行うため、担当者2名による催促、督促、分納相談を実施し、事案によっては弁護士に委託した。 【未収金の発生状況】 (各年度末時点※) <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">R3</th><th colspan="2">R4</th><th colspan="2">R5</th></tr><tr><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>過年分</td><td>329</td><td>26,200</td><td>440</td><td>30,794</td><td>548</td><td>34,151</td></tr><tr><td>現年分</td><td>574</td><td>22,152</td><td>572</td><td>35,590</td><td>509</td><td>53,825</td></tr><tr><td>合計</td><td>903</td><td>48,352</td><td>1,012</td><td>66,384</td><td>1,057</td><td>87,976</td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">R6</th><th colspan="2">R7</th></tr><tr><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th><th>件数 (件)</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>過年分</td><td>602</td><td>37,231</td><td>651</td><td>30,699</td></tr><tr><td>現年分</td><td>454</td><td>20,603</td><td>515</td><td>28,524</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,056</td><td>57,834</td><td>1,166</td><td>59,223</td></tr></table> ※年度末時点での4月以降の診療報酬収納分を除く	項目\年度	R3	R4	R5	一日当たり外来患者数 (単位：人)	1,068	1,086	1,057	一人当たり外来単価 (単位：円)	21,346	21,602	23,580	項目\年度	R6	R7	一日当たり外来患者数 (単位：人)	1,091	1,112	一人当たり外来単価 (単位：円)	24,167	26,183		R3		R4		R5		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	329	26,200	440	30,794	548	34,151	現年分	574	22,152	572	35,590	509	53,825	合計	903	48,352	1,012	66,384	1,057	87,976		R6		R7		件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	過年分	602	37,231	651	30,699	現年分	454	20,603	515	28,524	合計	1,056	57,834	1,166	59,223		
項目\年度	R3	R4	R5																																																																																	
一日当たり外来患者数 (単位：人)	1,068	1,086	1,057																																																																																	
一人当たり外来単価 (単位：円)	21,346	21,602	23,580																																																																																	
項目\年度	R6	R7																																																																																		
一日当たり外来患者数 (単位：人)	1,091	1,112																																																																																		
一人当たり外来単価 (単位：円)	24,167	26,183																																																																																		
	R3		R4		R5																																																																															
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																																														
過年分	329	26,200	440	30,794	548	34,151																																																																														
現年分	574	22,152	572	35,590	509	53,825																																																																														
合計	903	48,352	1,012	66,384	1,057	87,976																																																																														
	R6		R7																																																																																	
	件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)																																																																																
過年分	602	37,231	651	30,699																																																																																
現年分	454	20,603	515	28,524																																																																																
合計	1,056	57,834	1,166	59,223																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																									
			3 国の医療制度改革や診療報酬改定等への迅速な対応 ・診療密度の向上や入院期間のチェック、適正な DPC コーディングを実施し、来年度の DPC 特定病院群を維持した。 ・令和 8 年 6 月の診療報酬改定に向け、各部門と連携し情報収集や施設基準への対応を行った。																																																											
26	※ 費用の削減 1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 2 後発医薬品の使用促進		1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 ・薬価交渉を実施し年間約 1,453 万円の削減効果を得た。 【医薬収益に対する材料費比率】 単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>18.5</td><td>20.3</td><td>21.4</td><td>21.8</td><td>23.8</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>11.1</td><td>11.6</td><td>12.2</td><td>12.1</td><td>11.9</td></tr><tr><td>材料費全体</td><td>29.8</td><td>31.9</td><td>33.8</td><td>34.1</td><td>35.8</td></tr></table> 【薬品費及び診療材料費】 単位：千円 <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>3,410,882</td><td>3,688,839</td><td>3,911,475</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>2,048,555</td><td>2,092,256</td><td>2,224,529</td></tr></table> <table><tr><th>区分\年度</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>薬品費</td><td>3,700,989</td><td>4,847,647</td></tr><tr><td>診療材料費</td><td>2,521,379</td><td>2,249,174</td></tr></table> 2 後発医薬品の使用促進 ・年度平均で後発医薬品の使用率は 95.81％となり、後発医薬品使用体制加算Ⅰの要件となる使用率 90％以上を確保した。 【後発医薬品（ジェネリック）の使用比率】 単位：％ <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>数量ベース</td><td>90.63</td><td>89.79</td><td>93.17</td><td>92.23</td><td>95.81</td></tr></table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	薬品費	18.5	20.3	21.4	21.8	23.8	診療材料費	11.1	11.6	12.2	12.1	11.9	材料費全体	29.8	31.9	33.8	34.1	35.8	区分\年度	R3	R4	R5	薬品費	3,410,882	3,688,839	3,911,475	診療材料費	2,048,555	2,092,256	2,224,529	区分\年度	R6	R7	薬品費	3,700,989	4,847,647	診療材料費	2,521,379	2,249,174	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	数量ベース	90.63	89.79	93.17	92.23	95.81	Ⅱ	薬価交渉により費用の削減を行ったが、これを上回る物価高騰により、薬品費、診療材料費が増えた。
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																									
薬品費	18.5	20.3	21.4	21.8	23.8																																																									
診療材料費	11.1	11.6	12.2	12.1	11.9																																																									
材料費全体	29.8	31.9	33.8	34.1	35.8																																																									
区分\年度	R3	R4	R5																																																											
薬品費	3,410,882	3,688,839	3,911,475																																																											
診療材料費	2,048,555	2,092,256	2,224,529																																																											
区分\年度	R6	R7																																																												
薬品費	3,700,989	4,847,647																																																												
診療材料費	2,521,379	2,249,174																																																												
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																																									
数量ベース	90.63	89.79	93.17	92.23	95.81																																																									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率 100%以上を達成すること。 医業収支比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
27	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を効果的に進めるなどして、経常収支比率 100%以上、医業収支比率 100%以上及び職員給与費対医業収益比率 50%以下を目指す。		・入院収益、外来収益ともに昨年度と比べて増加したが、高額医薬品の使用量増加による材料費の増加等により経常収支比率 91.0%となった。また、職員給与費対医業収益比率は目標の 50%以下を上回ったため、業務の効率化や医業収益の更なる増収を目指していく。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td><td>99.5</td><td>96.8</td><td>85.2</td><td>87.0</td><td>91.0</td></tr> <tr> <td>職員給与費</td><td>53.0</td><td>54.2</td><td>53.5</td><td>52.4</td><td>51.7</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	経常収支	99.5	96.8	85.2	87.0	91.0	職員給与費	53.0	54.2	53.5	52.4	51.7	Ⅱ	6年連続の赤字を計上した。
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																		
経常収支	99.5	96.8	85.2	87.0	91.0																		
職員給与費	53.0	54.2	53.5	52.4	51.7																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																
	1 予算 (単位：百万円) <table><thead><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr></thead><tbody><tr><td>収入</td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>21,718</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>19,797</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,545</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>376</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>113</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>46</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>67</td></tr><tr><td> 資本収入</td><td>207</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>192</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>0</td></tr><tr><td> その他資本収入</td><td>15</td></tr><tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr><tr><td> 計</td><td>22,038</td></tr><tr><td>支出</td><td></td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>22,004</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>21,248</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>9,923</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>7,434</td></tr><tr><td> 経費</td><td>3,807</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>84</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>756</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>464</td></tr><tr><td> 経費</td><td>292</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>141</td></tr><tr><td> 資本支出</td><td>1,424</td></tr><tr><td> 建設改良費</td><td>439</td></tr><tr><td> 償還金</td><td>912</td></tr><tr><td> その他資本支出</td><td>73</td></tr><tr><td> その他の支出</td><td>0</td></tr><tr><td> 計</td><td>23,569</td></tr></tbody></table> (注記 略)	区 分	金 額	収入		営業収益	21,718	医業収益	19,797	運営費負担金収益	1,545	その他営業収益	376	営業外収益	113	運営費負担金収益	46	その他営業外収益	67	資本収入	207	長期借入金	192	運営費負担金	0	その他資本収入	15	その他の収入	0	計	22,038	支出		営業費用	22,004	医業費用	21,248	給与費	9,923	材料費	7,434	経費	3,807	研究研修費	84	一般管理費	756	給与費	464	経費	292	営業外費用	141	資本支出	1,424	建設改良費	439	償還金	912	その他資本支出	73	その他の支出	0	計	23,569		1 決算 (単位：百万円) <table><thead><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr></thead><tbody><tr><td>収入</td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>24,831</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>22,899</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,577</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>355</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>122</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>46</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>76</td></tr><tr><td> 資本収入</td><td>414</td></tr><tr><td> 長期借入金</td><td>268</td></tr><tr><td> 運営費負担金</td><td>127</td></tr><tr><td> その他資本収入</td><td>19</td></tr><tr><td> その他の収入</td><td>0</td></tr><tr><td> 計</td><td>25,367</td></tr><tr><td>支出</td><td></td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>22,516</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>21,785</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>9,929</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>7,974</td></tr><tr><td> 経費</td><td>3,825</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>57</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>731</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>496</td></tr><tr><td> 経費</td><td>235</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>152</td></tr><tr><td> 資本支出</td><td>1,048</td></tr><tr><td> 建設改良費</td><td>254</td></tr><tr><td> 償還金</td><td>763</td></tr><tr><td> その他資本支出</td><td>31</td></tr><tr><td> その他の支出</td><td>0</td></tr><tr><td> 計</td><td>23,716</td></tr></tbody></table> (注記 略)	区 分	金 額	収入		営業収益	24,831	医業収益	22,899	運営費負担金収益	1,577	その他営業収益	355	営業外収益	122	運営費負担金収益	46	その他営業外収益	76	資本収入	414	長期借入金	268	運営費負担金	127	その他資本収入	19	その他の収入	0	計	25,367	支出		営業費用	22,516	医業費用	21,785	給与費	9,929	材料費	7,974	経費	3,825	研究研修費	57	一般管理費	731	給与費	496	経費	235	営業外費用	152	資本支出	1,048	建設改良費	254	償還金	763	その他資本支出	31	その他の支出	0	計	23,716		
区 分	金 額																																																																																																																																				
収入																																																																																																																																					
営業収益	21,718																																																																																																																																				
医業収益	19,797																																																																																																																																				
運営費負担金収益	1,545																																																																																																																																				
その他営業収益	376																																																																																																																																				
営業外収益	113																																																																																																																																				
運営費負担金収益	46																																																																																																																																				
その他営業外収益	67																																																																																																																																				
資本収入	207																																																																																																																																				
長期借入金	192																																																																																																																																				
運営費負担金	0																																																																																																																																				
その他資本収入	15																																																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																																																				
計	22,038																																																																																																																																				
支出																																																																																																																																					
営業費用	22,004																																																																																																																																				
医業費用	21,248																																																																																																																																				
給与費	9,923																																																																																																																																				
材料費	7,434																																																																																																																																				
経費	3,807																																																																																																																																				
研究研修費	84																																																																																																																																				
一般管理費	756																																																																																																																																				
給与費	464																																																																																																																																				
経費	292																																																																																																																																				
営業外費用	141																																																																																																																																				
資本支出	1,424																																																																																																																																				
建設改良費	439																																																																																																																																				
償還金	912																																																																																																																																				
その他資本支出	73																																																																																																																																				
その他の支出	0																																																																																																																																				
計	23,569																																																																																																																																				
区 分	金 額																																																																																																																																				
収入																																																																																																																																					
営業収益	24,831																																																																																																																																				
医業収益	22,899																																																																																																																																				
運営費負担金収益	1,577																																																																																																																																				
その他営業収益	355																																																																																																																																				
営業外収益	122																																																																																																																																				
運営費負担金収益	46																																																																																																																																				
その他営業外収益	76																																																																																																																																				
資本収入	414																																																																																																																																				
長期借入金	268																																																																																																																																				
運営費負担金	127																																																																																																																																				
その他資本収入	19																																																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																																																				
計	25,367																																																																																																																																				
支出																																																																																																																																					
営業費用	22,516																																																																																																																																				
医業費用	21,785																																																																																																																																				
給与費	9,929																																																																																																																																				
材料費	7,974																																																																																																																																				
経費	3,825																																																																																																																																				
研究研修費	57																																																																																																																																				
一般管理費	731																																																																																																																																				
給与費	496																																																																																																																																				
経費	235																																																																																																																																				
営業外費用	152																																																																																																																																				
資本支出	1,048																																																																																																																																				
建設改良費	254																																																																																																																																				
償還金	763																																																																																																																																				
その他資本支出	31																																																																																																																																				
その他の支出	0																																																																																																																																				
計	23,716																																																																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																				
	2 収支計画 (単位：百万円) <table><thead><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr></thead><tbody><tr><td>収益の部</td><td>21,802</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>21,697</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>19,771</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,545</td></tr><tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>292</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>89</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>105</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>46</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>59</td></tr><tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr><tr><td>費用の部</td><td>23,991</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>22,942</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>22,166</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>9,912</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>6,758</td></tr><tr><td> 経費</td><td>3,461</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>1,959</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>76</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>776</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>460</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>51</td></tr><tr><td> 経費</td><td>265</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>1,049</td></tr><tr><td> 臨時損失</td><td>0</td></tr><tr><td> 予備費</td><td>0</td></tr><tr><td>純損失</td><td>▲2,189</td></tr><tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr><tr><td>総損失</td><td>▲2,189</td></tr></tbody></table> (注記 略)	区 分	金 額	収益の部	21,802	営業収益	21,697	医業収益	19,771	運営費負担金収益	1,545	資産見返負債戻入	292	その他営業収益	89	営業外収益	105	運営費負担金収益	46	その他営業外収益	59	臨時利益	0	費用の部	23,991	営業費用	22,942	医業費用	22,166	給与費	9,912	材料費	6,758	経費	3,461	減価償却費	1,959	研究研修費	76	一般管理費	776	給与費	460	減価償却費	51	経費	265	営業外費用	1,049	臨時損失	0	予備費	0	純損失	▲2,189	目的積立金取崩額	0	総損失	▲2,189		2 収支計画に対する実績 (単位：百万円) <table><thead><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr></thead><tbody><tr><td>収益の部</td><td>22,409</td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>22,289</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>20,157</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,577</td></tr><tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>319</td></tr><tr><td> その他営業収益</td><td>236</td></tr><tr><td> 営業外収益</td><td>120</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>46</td></tr><tr><td> その他営業外収益</td><td>74</td></tr><tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr><tr><td>費用の部</td><td>24,625</td></tr><tr><td> 営業費用</td><td>23,388</td></tr><tr><td> 医業費用</td><td>22,693</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>9,991</td></tr><tr><td> 材料費</td><td>7,212</td></tr><tr><td> 経費</td><td>3,542</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>1,894</td></tr><tr><td> 研究研修費</td><td>54</td></tr><tr><td> 一般管理費</td><td>695</td></tr><tr><td> 給与費</td><td>426</td></tr><tr><td> 減価償却費</td><td>54</td></tr><tr><td> 経費</td><td>215</td></tr><tr><td> 営業外費用</td><td>1,237</td></tr><tr><td> 臨時損失</td><td>1</td></tr><tr><td> 予備費</td><td>0</td></tr><tr><td>純損失</td><td>▲2,216</td></tr><tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr><tr><td>総損失</td><td>▲2,216</td></tr></tbody></table> (注記 略)	区 分	金 額	収益の部	22,409	営業収益	22,289	医業収益	20,157	運営費負担金収益	1,577	資産見返負債戻入	319	その他営業収益	236	営業外収益	120	運営費負担金収益	46	その他営業外収益	74	臨時利益	0	費用の部	24,625	営業費用	23,388	医業費用	22,693	給与費	9,991	材料費	7,212	経費	3,542	減価償却費	1,894	研究研修費	54	一般管理費	695	給与費	426	減価償却費	54	経費	215	営業外費用	1,237	臨時損失	1	予備費	0	純損失	▲2,216	目的積立金取崩額	0	総損失	▲2,216		
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	21,802																																																																																																																								
営業収益	21,697																																																																																																																								
医業収益	19,771																																																																																																																								
運営費負担金収益	1,545																																																																																																																								
資産見返負債戻入	292																																																																																																																								
その他営業収益	89																																																																																																																								
営業外収益	105																																																																																																																								
運営費負担金収益	46																																																																																																																								
その他営業外収益	59																																																																																																																								
臨時利益	0																																																																																																																								
費用の部	23,991																																																																																																																								
営業費用	22,942																																																																																																																								
医業費用	22,166																																																																																																																								
給与費	9,912																																																																																																																								
材料費	6,758																																																																																																																								
経費	3,461																																																																																																																								
減価償却費	1,959																																																																																																																								
研究研修費	76																																																																																																																								
一般管理費	776																																																																																																																								
給与費	460																																																																																																																								
減価償却費	51																																																																																																																								
経費	265																																																																																																																								
営業外費用	1,049																																																																																																																								
臨時損失	0																																																																																																																								
予備費	0																																																																																																																								
純損失	▲2,189																																																																																																																								
目的積立金取崩額	0																																																																																																																								
総損失	▲2,189																																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	22,409																																																																																																																								
営業収益	22,289																																																																																																																								
医業収益	20,157																																																																																																																								
運営費負担金収益	1,577																																																																																																																								
資産見返負債戻入	319																																																																																																																								
その他営業収益	236																																																																																																																								
営業外収益	120																																																																																																																								
運営費負担金収益	46																																																																																																																								
その他営業外収益	74																																																																																																																								
臨時利益	0																																																																																																																								
費用の部	24,625																																																																																																																								
営業費用	23,388																																																																																																																								
医業費用	22,693																																																																																																																								
給与費	9,991																																																																																																																								
材料費	7,212																																																																																																																								
経費	3,542																																																																																																																								
減価償却費	1,894																																																																																																																								
研究研修費	54																																																																																																																								
一般管理費	695																																																																																																																								
給与費	426																																																																																																																								
減価償却費	54																																																																																																																								
経費	215																																																																																																																								
営業外費用	1,237																																																																																																																								
臨時損失	1																																																																																																																								
予備費	0																																																																																																																								
純損失	▲2,216																																																																																																																								
目的積立金取崩額	0																																																																																																																								
総損失	▲2,216																																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																								
	3 資金計画 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>24,763</td></tr><tr><td> 業務活動による収入</td><td>21,547</td></tr><tr><td> 診療業務による収入</td><td>19,800</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>1,591</td></tr><tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>156</td></tr><tr><td> 投資活動による収入</td><td>48</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>33</td></tr><tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>15</td></tr><tr><td> 財務活動による収入</td><td>443</td></tr><tr><td> 長期借入による収入</td><td>191</td></tr><tr><td> その他の財務活動による収入</td><td>252</td></tr><tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>2,725</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>24,763</td></tr><tr><td> 業務活動による支出</td><td>22,220</td></tr><tr><td> 給与費支出</td><td>8,454</td></tr><tr><td> 材料費支出</td><td>7,433</td></tr><tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>6,334</td></tr><tr><td> 投資活動による支出</td><td>492</td></tr><tr><td> 有形固定資産の取得による支出</td><td>418</td></tr><tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>74</td></tr><tr><td> 財務活動による支出</td><td>912</td></tr><tr><td> 長期借入金返済による支出</td><td>705</td></tr><tr><td> 移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>98</td></tr><tr><td> その他財務活動による支出</td><td>109</td></tr><tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>1,139</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	24,763	業務活動による収入	21,547	診療業務による収入	19,800	運営費負担金による収入	1,591	その他の業務活動による収入	156	投資活動による収入	48	運営費負担金による収入	33	その他の投資活動による収入	15	財務活動による収入	443	長期借入による収入	191	その他の財務活動による収入	252	前事業年度からの繰越金	2,725	資金支出	24,763	業務活動による支出	22,220	給与費支出	8,454	材料費支出	7,433	その他の業務活動による支出	6,334	投資活動による支出	492	有形固定資産の取得による支出	418	その他の投資活動による支出	74	財務活動による支出	912	長期借入金返済による支出	705	移前地方債償還義務の償還による支出	98	その他財務活動による支出	109	翌事業年度への繰越金	1,139		3 資金計画に対する実績 (単位：百万円) <table><tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>25,508</td></tr><tr><td> 業務活動による収入</td><td>22,189</td></tr><tr><td> 診療業務による収入</td><td>20,005</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>1,623</td></tr><tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>561</td></tr><tr><td> 投資活動による収入</td><td>42</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>13</td></tr><tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>29</td></tr><tr><td> 財務活動による収入</td><td>382</td></tr><tr><td> 長期借入による収入</td><td>127</td></tr><tr><td> その他の財務活動による収入</td><td>255</td></tr><tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>2,895</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>25,508</td></tr><tr><td> 業務活動による支出</td><td>22,530</td></tr><tr><td> 給与費支出</td><td>8,167</td></tr><tr><td> 材料費支出</td><td>7,880</td></tr><tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>6,484</td></tr><tr><td> 投資活動による支出</td><td>352</td></tr><tr><td> 有形固定資産の取得による支出</td><td>320</td></tr><tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>33</td></tr><tr><td> 財務活動による支出</td><td>764</td></tr><tr><td> 長期借入金返済による支出</td><td>580</td></tr><tr><td> 移前地方債償還義務の償還による支出</td><td>98</td></tr><tr><td> その他財務活動による支出</td><td>87</td></tr><tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>1,859</td></tr></table> (注記 略)	区 分	金 額	資金収入	25,508	業務活動による収入	22,189	診療業務による収入	20,005	運営費負担金による収入	1,623	その他の業務活動による収入	561	投資活動による収入	42	運営費負担金による収入	13	その他の投資活動による収入	29	財務活動による収入	382	長期借入による収入	127	その他の財務活動による収入	255	前事業年度からの繰越金	2,895	資金支出	25,508	業務活動による支出	22,530	給与費支出	8,167	材料費支出	7,880	その他の業務活動による支出	6,484	投資活動による支出	352	有形固定資産の取得による支出	320	その他の投資活動による支出	33	財務活動による支出	764	長期借入金返済による支出	580	移前地方債償還義務の償還による支出	98	その他財務活動による支出	87	翌事業年度への繰越金	1,859		
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	24,763																																																																																																												
業務活動による収入	21,547																																																																																																												
診療業務による収入	19,800																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,591																																																																																																												
その他の業務活動による収入	156																																																																																																												
投資活動による収入	48																																																																																																												
運営費負担金による収入	33																																																																																																												
その他の投資活動による収入	15																																																																																																												
財務活動による収入	443																																																																																																												
長期借入による収入	191																																																																																																												
その他の財務活動による収入	252																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	2,725																																																																																																												
資金支出	24,763																																																																																																												
業務活動による支出	22,220																																																																																																												
給与費支出	8,454																																																																																																												
材料費支出	7,433																																																																																																												
その他の業務活動による支出	6,334																																																																																																												
投資活動による支出	492																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	418																																																																																																												
その他の投資活動による支出	74																																																																																																												
財務活動による支出	912																																																																																																												
長期借入金返済による支出	705																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	98																																																																																																												
その他財務活動による支出	109																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	1,139																																																																																																												
区 分	金 額																																																																																																												
資金収入	25,508																																																																																																												
業務活動による収入	22,189																																																																																																												
診療業務による収入	20,005																																																																																																												
運営費負担金による収入	1,623																																																																																																												
その他の業務活動による収入	561																																																																																																												
投資活動による収入	42																																																																																																												
運営費負担金による収入	13																																																																																																												
その他の投資活動による収入	29																																																																																																												
財務活動による収入	382																																																																																																												
長期借入による収入	127																																																																																																												
その他の財務活動による収入	255																																																																																																												
前事業年度からの繰越金	2,895																																																																																																												
資金支出	25,508																																																																																																												
業務活動による支出	22,530																																																																																																												
給与費支出	8,167																																																																																																												
材料費支出	7,880																																																																																																												
その他の業務活動による支出	6,484																																																																																																												
投資活動による支出	352																																																																																																												
有形固定資産の取得による支出	320																																																																																																												
その他の投資活動による支出	33																																																																																																												
財務活動による支出	764																																																																																																												
長期借入金返済による支出	580																																																																																																												
移前地方債償還義務の償還による支出	98																																																																																																												
その他財務活動による支出	87																																																																																																												
翌事業年度への繰越金	1,859																																																																																																												
過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況																																																																																																													

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理由		1 限度額 ・25 億円 2 想定される短期借入金の発生理由 ・実績なし	一	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画		・該当なし	一	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		・該当なし	一	

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 剰余金の使途		・該当なし	一	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を推進するため、労務管理を適正に行うとともに、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実、DXの導入等により、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師については、タスク・シフティングの推進等、国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との間で、医師の診療応援や人事交流など、連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	施設・設備整備については、医療需要、費用対効果、医療技術の進展、長寿命化・平準化などを総合的に勘案し、法人として果たすべき役割・機能の強化が図られるよう、必要性や適正な規模等について十分に検討したうえで、計画的に実施すること。
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にすること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R7年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																				
28	※ 職員の就労環境の向上 1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 2 働き方改革の実現に向けた取組 3 職員のモチベーション向上に資する取組	1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 ・育児部分休業の活用等、仕事と家庭を両立させるための柔軟な勤務時間体制を推進した結果、育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数は78名となった。 ・働き方改革・職員相談支援室において、職場環境や人間関係等の悩みを相談できる体制を確保しており、看護部についてはナースサポートセンターとして専任の看護師が対応を行った。また、院内広報誌「土岐川のしらべ」を隔週で発行し、相談機能の充実に努めた。 【有給休暇取得率】 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次休暇</td><td>40.1</td><td>44.1</td><td>48.9</td><td>52.2</td><td>54.7</td></tr> </tbody> </table> 【医師・看護師事務作業補助者数】 単位：人（各年度末時点） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者（医療クラーク）</td><td>36</td><td>36</td><td>32</td><td>29</td><td>26</td></tr> <tr> <td>病棟事務補助者（看護クラーク）</td><td>18</td><td>13</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>54</td><td>49</td><td>50</td><td>47</td><td>44</td></tr> </tbody> </table>	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	年次休暇	40.1	44.1	48.9	52.2	54.7	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	医師事務作業補助者（医療クラーク）	36	36	32	29	26	病棟事務補助者（看護クラーク）	18	13	18	18	18	合 計	54	49	50	47	44		IV	有給休暇取得率の向上等についての取組を評価。
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																				
年次休暇	40.1	44.1	48.9	52.2	54.7																																				
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																				
医師事務作業補助者（医療クラーク）	36	36	32	29	26																																				
病棟事務補助者（看護クラーク）	18	13	18	18	18																																				
合 計	54	49	50	47	44																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
		【育児部分休業及び育児短時間勤務利用者数】 単位：人（各年度末時点） <table><tr><th>区分\年度</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>利用者数</td><td>55</td><td>61</td><td>69</td><td>62</td><td>78</td></tr></table> 2 働き方改革の実現に向けた取組 ・前期定期健康診断とあわせて、「ストレスチェック」を全職員対象に実施した。（受検率 96.5%） ・定期健康診断の受診率は 99.6% であり、要精密検査等の指示のあった職員へのフォローを実施した。 【メンタルヘルスケア相談件数】 単位：件 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>9</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>9</td></tr></table> 【メンタルヘルス講習会参加者数】 単位：人 <table><tr><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>48</td><td>55</td><td>935</td></tr></table> ※令和 2～4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送った。また、令和 5 年度から当日参加できない職員にも配慮し、WEB で後日視聴が可能となるようにした。 3 職員のモチベーション向上に資する取組 ・目標管理と連動し、公正で客観的な人事評価制度の円滑な運用に努めた。 ・職員食堂の運営等の変更に伴い実施した、利用者アンケートの結果をうけ、満足度が低かった献立に対し改善に取り組んだ。（回答人数：78 件）。	区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7	利用者数	55	61	69	62	78	R3	R4	R5	R6	R7	9	5	5	5	9	R3	R4	R5	R6	R7	—	—	48	55	935			
区分\年度	R3	R4	R5	R6	R7																																
利用者数	55	61	69	62	78																																
R3	R4	R5	R6	R7																																	
9	5	5	5	9																																	
R3	R4	R5	R6	R7																																	
—	—	48	55	935																																	
29	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		1 県との連携・強化	Ⅲ	県との連携強化は推進したが、他の地方独立行政法人との連携強化はなかったため平年並みと評価。																																
	1 岐阜県との連携・強化		・岐阜県立多治見看護専門学校に対して、病院の医師・看護師等を専任教員又は非常勤講師として派遣するなど、同校との連携の強化を維持した。																																		
	2 他の地方独立行政法人との連携・強化		・既存棟の改修工事、旧棟の解体工事、外構工事について機能面や防災面で早期の施工が必要であるが、経営的な要因で計画が保留となっていること、計画の再始動にはかなりの期間を要することなどの現状を岐阜県健康福祉部長および担当課へ説明した。																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																				
			2 他の地方独立行政法人との連携・強化 ・特記事項なし																																																																						
30	※ 施設・医療機器の整備に関する事項 1 管理棟改修等の施設の整備 2 設備や医療機器の計画的な更新・整備		1 管理棟改修等の施設の整備 ・既存棟の改修工事（患者総合支援センター、化学療法センター、管理部門等の整備）は必要な財源を確保できるまで発注を延期したままであるが、既存棟が最新の建築基準法に適合するために最低限必要となる工事について、発注準備を開始した。 ・手術支援ロボット、ハイブリッド手術室、増設強化した MRI 装置について有効活用するため、東濃圏域等への PR 活動や院内調整を行い、円滑かつ効果的に運用できるように努めた。 2 医療機器の計画的な更新・整備 ・厳しい経営状況から、整備対象を緊急性の高い医療機器、収益性の高い医療機器、複数の診療科で共同利用する医療機器に厳選して整備を行った。 【総投資額】 （単位：百万円） <table><tr><th>区分</th><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td rowspan="7">新 棟 建 設 ・ 既 存 棟 改 修</td><td>建築工事</td><td>700</td><td>2,814</td><td>4,942</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>電気設備工事</td><td>0</td><td>0</td><td>2,204</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>空調設備工事</td><td>0</td><td>119</td><td>2,238</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>衛生設備工事</td><td>0</td><td>0</td><td>1,621</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>エレベーター設備</td><td>0</td><td>0</td><td>91</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>工事監理</td><td>30</td><td>52</td><td>39</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>小 計</td><td>730</td><td>2,985</td><td>11,135</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>医療機器等整備</td><td>358</td><td>184</td><td>3510</td><td>134</td><td>213</td></tr><tr><td>施設等整備</td><td>100</td><td>145</td><td>47</td><td>32</td><td>4</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,188</td><td>3,314</td><td>14,692</td><td>166</td><td>217</td></tr></table>	区分		R3	R4	R5	R6	R7	新 棟 建 設 ・ 既 存 棟 改 修	建築工事	700	2,814	4,942	—	—	電気設備工事	0	0	2,204	—	—	空調設備工事	0	119	2,238	—	—	衛生設備工事	0	0	1,621	—	—	エレベーター設備	0	0	91	—	—	工事監理	30	52	39	—	—	小 計	730	2,985	11,135	—	—	医療機器等整備	358	184	3510	134	213	施設等整備	100	145	47	32	4	合 計	1,188	3,314	14,692	166	217	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価
区分		R3	R4	R5	R6	R7																																																																			
新 棟 建 設 ・ 既 存 棟 改 修	建築工事	700	2,814	4,942	—	—																																																																			
	電気設備工事	0	0	2,204	—	—																																																																			
	空調設備工事	0	119	2,238	—	—																																																																			
	衛生設備工事	0	0	1,621	—	—																																																																			
	エレベーター設備	0	0	91	—	—																																																																			
	工事監理	30	52	39	—	—																																																																			
	小 計	730	2,985	11,135	—	—																																																																			
医療機器等整備	358	184	3510	134	213																																																																				
施設等整備	100	145	47	32	4																																																																				
合 計	1,188	3,314	14,692	166	217																																																																				
31	※ 内部統制の充実強化 1 内部統制の取組 2 内部統制に対する監査及び評価 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化		1 内部統制の取組 ・内部統制委員会、リスク管理委員会を3月に開催し、昨年度に識別されたリスクへの対応状況等について報告し、リスク等の共有を図った。 2 内部統制に対する監査及び評価 ・監査法人と委託契約を締結し、昨年度に識別されたリスクへの対応状況や、収益認識基準の導入における内部統制への影響、令和2年度作成のリスクインテリジェントマップの見直しを行い、令和7年度の取組について、内部統制委員会、リスク管理委員会へ報告し、リスク等の共有を図った。	Ⅲ	継続的な取組が実施できているが、平年並みの実績と評価																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
			3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 ・災害時情報収集システムの更新により院内の被災状況等の把握が容易となった。																																										
32	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		・法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に行った。 【企業債償還額（元本）】（単位：百万円） <table><tr><th>償還月</th><th>金 額</th></tr><tr><td>9 月</td><td>339</td></tr><tr><td>3 月</td><td>339</td></tr><tr><td>計</td><td>678</td></tr></table> 【債務の償還状況（合計）】（単位：百万円） <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中中期計画期間計</td><td>3,603</td></tr><tr><td>第 2 期中中期計画期間計</td><td>2,634</td></tr><tr><td>R 3</td><td>448</td></tr><tr><td>R 4</td><td>525</td></tr><tr><td>R 5</td><td>392</td></tr><tr><td>R 6</td><td>802</td></tr><tr><td>R 7</td><td>678</td></tr></table> (内訳) 移行前地方債償還債務（単位：百万円） <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中中期計画期間計</td><td>3,211</td></tr><tr><td>第 2 期中中期計画期間計</td><td>1,485</td></tr><tr><td>R 3</td><td>90</td></tr><tr><td>R 4</td><td>91</td></tr><tr><td>R 5</td><td>94</td></tr><tr><td>R 6</td><td>95</td></tr><tr><td>R 7</td><td>98</td></tr></table>	償還月	金 額	9 月	339	3 月	339	計	678	年度	実績	第 1 期中中期計画期間計	3,603	第 2 期中中期計画期間計	2,634	R 3	448	R 4	525	R 5	392	R 6	802	R 7	678	年度	実績	第 1 期中中期計画期間計	3,211	第 2 期中中期計画期間計	1,485	R 3	90	R 4	91	R 5	94	R 6	95	R 7	98	Ⅲ	償還計画に則って償還できている。
償還月	金 額																																												
9 月	339																																												
3 月	339																																												
計	678																																												
年度	実績																																												
第 1 期中中期計画期間計	3,603																																												
第 2 期中中期計画期間計	2,634																																												
R 3	448																																												
R 4	525																																												
R 5	392																																												
R 6	802																																												
R 7	678																																												
年度	実績																																												
第 1 期中中期計画期間計	3,211																																												
第 2 期中中期計画期間計	1,485																																												
R 3	90																																												
R 4	91																																												
R 5	94																																												
R 6	95																																												
R 7	98																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R 7 年度計画で特に進捗した取組／評価結果の反映状況	その他の主な取組／課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																
			長期借入金償還額 (単位：百万円) <table><tr><th>年度</th><th>実績</th></tr><tr><td>第 1 期中期計画期間計</td><td>392</td></tr><tr><td>第 2 期中期計画期間計</td><td>1, 149</td></tr><tr><td>R 3</td><td>358</td></tr><tr><td>R 4</td><td>434</td></tr><tr><td>R 5</td><td>298</td></tr><tr><td>R 6</td><td>707</td></tr><tr><td>R 7</td><td>580</td></tr></table>	年度	実績	第 1 期中期計画期間計	392	第 2 期中期計画期間計	1, 149	R 3	358	R 4	434	R 5	298	R 6	707	R 7	580		
年度	実績																				
第 1 期中期計画期間計	392																				
第 2 期中期計画期間計	1, 149																				
R 3	358																				
R 4	434																				
R 5	298																				
R 6	707																				
R 7	580																				

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況